

珠々の詰連珠 (4)

五段 真野 芳久 著

東海連珠会

目次

0	各章のテーマについて	7
1	ゼロ手の詰連珠	13
2	一手の詰連珠	19
3	三手の詰連珠	37
4	長めの詰連珠	67
5	序盤の詰連珠	87
6	ひとめの詰連珠	95
7	逆転の詰連珠	103
8	六路の詰連珠	111

.....

本小冊子に関する情報は、東海連珠会ホームページ^(*)の“連珠資料”内でご覧
頂けます。

(*) <http://tokai-renjukai.pya.jp/>

はじめに

五目並べとも呼ばれる^{れんじゆ}連珠は、15 × 15の連珠盤と碁石を使って2人が交互に石を置き、先に五つ連続して並べた方を勝ちとする盤ゲームです。幅広い世代で気楽に、そして名人戦や世界選手権等で真剣に楽しまれています。対局での最後は、三や四等の攻め手(追い手)で相手に防ぎを強要しながら、五や四三等の勝ち形を作ることになりますが、その部分だけを問題として抜き出して一人でも楽しめるようにしたのが^{つめれんじゆ}詰連珠です。

筆者は東海連珠会ホームページ(<http://tokai-renjukai.pya.jp/>)の“詰連珠コーナー”で多くの詰連珠問題を発表していますが、ここではそれらの問題に新作も加え、種々のテーマの下で編集した形で紹介します。“種々の”をもじって冊子のタイトルを“珠々の”としていますが、ご容赦下さい。“珠々の”のテーマの一覧は目次でご覧頂けますが、それらのいくらか詳細な説明は0章「各章のテーマについて」にあります。

どのテーマの詰連珠でも、易しめの問題も含め、実戦でも役立つ手順や詰め

の感覚を養ってくれる手順が含まれています。各章は、筆者の主観ではありませんが、易しめの問題から難しめの問題に順に並ぶようにしています。

詰連珠では勝利形直前の四追いは一手と数えますが、四追いと明示した問題を除き、易しめの問題とするために最後の四追いは、変化図も含め、短めとなるようにしています。また、防ぎの変化の少ないものを選んでいきます。

“詰連珠”と称する以上、出題者の意図する趣旨や技量の上達に役立つ教訓的な手順が含まれています。そのような趣旨や教訓が明確になるよう、解に関係しない石はできるだけ省く方針で作っていますが、作り物っぽくなるのを避け実戦の局面の一部として現われてもよい形になるようにも配慮しています。

不詰め*¹はもちろん余詰め*²もないように作っていますが、もし不都合の点を見つけられた場合は、筆者まで連絡して頂ければ幸いです。

*¹ すぐれた防ぎのために、攻め手に勝ちとなる手順のない問題。

*² 出題者の用意した手順以外でも、攻め手に勝ち手順のある問題。手順前後のように同趣旨の異なる勝ち手順は、許される範囲内とみなされます。

連珠の基本用語

連珠に馴染みのない方のために、連珠の基本用語を簡潔に説明しておきます。
黒石を持って先に打つ側を黒、白石を持って後で打つ側を白と呼んでいます。

五ごれん : 縦・横・斜めに同色の石が丁度5個並んだもの。五連とも言います。
黒・白とも勝ちです。

禁手きんて : 反則手。打つと(相手の四や三等を防ぐためでも)負けです。

長連ちょうれん : 縦・横・斜めに同色の石が6個以上並んだもの。黒は禁手ですが、白は勝ちです。

四 : 1個の石の追加で五(白の場合は長連を含む)となるもの。

達四たつし : 四で、五にする場所が2つあるもの。棒四ぼうしとも言います。

三 : 1個の石の追加で達四となるもの。

三々さんさん : 着手点を共通点として同時にできる2つの三。黒は禁手です。

四々しし : 同時にできる2つの四。黒は禁手です。

四三しさん : 同時にできる四と三。

せんで

先手 : 黒のこと。時に、新たな戦いの場に先に打つ側のこと。

ごて

後手 : 白のこと。時に、新たな戦いの場に後に打つ側のこと。

ミセ手 : 次に四三 (白の場合は四々も含む) を作るぞ、と打つ手。

しお

四追い : 四の連続で打つこと。四追い勝ち、四追いで勝つこと。

フクミ手 : 次に四追いで勝つぞ、と打つ手。

おて

追い手 : 三を作る (ヒク) 手・四を作る (ノビル) 手・ミセ手・フクミ手の
総称。

防ぎ手 : 追い手に対して五を作らせないように打つ手。三や四に対して
防ぐことを止めるとも言います。

おいづ

追詰め : 追い手の連続で勝ちを導くこと。追勝ちとも言います。

ちょうれんすじ

長連筋 : 直線状に並び間に空点のある 3 つ以上の同色の石群で、空点を
同色の色で埋めた時に長連になるもの、またその状態。

けんさき

剣先 : 四ノビをできる場所。

- ノリ手 : 追い手になっている防ぎ手、または相手の四追い中に四ができる防ぎ手。
- ノリ切り : 相手の四の中にある空点に防ぐことで四になること。
- ノリ押さえ : 相手の四を端に防ぐ手が四になること。
- 夏止め^{なつど} : ○・●●●・○のように、両端が空点の三連で、空点の先に敵石(または盤端)があり、三でない状態。
- 長連筋の夏止め : 黒の三連で、○・●●●・●のように、2つの空点の先に黒石があって、三になっていない状態。
- 四ノビ無効 : 攻め手順に影響を与える防ぎ側の四ノビであるが、その四を止めることで新たな追い手が生じ、以前の追い手を加えたすべての追い手を防ぐ手段がないこと。^{*3}
- 無駄な四ノビ : 攻め手順に影響を与えない防ぎ側の四ノビ、および最短勝ち手順に影響を与えない攻め側の四ノビ。

^{*3} 詰連珠の解答では、防ぎ変化の一部として、無効な四ノビについて言及する必要があります。

本冊子で使っている記法

- : 天元の位置 (盤の中央) にある黒石。
- 1 後 A : 攻め手側の着手 1 に対し、どのように防いでも A として勝ちとなることを示します。
- (イロハ) : 丸括弧で囲むことで四追いであることを示します。
- # : これに続く文は、正解手の補足説明です。
- ※ : これに続く文は、失敗手の説明です。

本小冊子は [1]～[3] の続編です。

[1] 真野芳久：「珠々の詰連珠 (1)」、東海連珠会、2017.11、2023.12 第 2 刷。

[2] 真野芳久：「珠々の詰連珠 (2)」、東海連珠会、2018.12、2023.12 第 2 刷。

[3] 真野芳久：「珠々の詰連珠 (3)」、東海連珠会、2019. 8、2023.12 第 2 刷。

0 各章のテーマについて

各章で扱っている詰連珠のテーマについての説明です。

0.1 ゼロ手の詰連珠

勝ちを確定的にする勝利形として、四三、(白の)四々や三々、黒の復活三々*4、黒に禁手を打たせる白の四や三があります。これらの勝利形を直ちに作る事ができる局面では、既に勝ちが用意されていると言えます。また、四追いで勝ちも、防ぎ手に考えさせることなく、従って防ぎの変化を検討する必要もなく勝ちを作ることのできるのです、この場合も勝ちが用意されていると言えます。

「ゼロ手の詰連珠」の章では、何の準備もなく(ゼロ手の準備で)、直ちに勝利形を作ることのできる問題、四追いで勝ちとなる四追い問題を扱います。

*4 三に見えるが禁手の関係で三でない筋を、禁点解消の方法で三にする三。否禁手です。

0.2 一手の詰連珠

“一手の”の意味は、詰連珠の解答に見られる‘黒1後 A または B の四三勝ち’や‘白1後 (イロ) で X 点三々禁’等のように、“一手打つと次の手で明白な勝利形が確実にできる”という意味です。詰連珠としては“3 珠打上げ”の問題となりますが、“白の三々勝ち”や“三による禁手狙い”も勝利形として含めたいこと、容易な問題クラスであることを強調したいことのために敢えてこのように命名しています。

既に「一手の詰連珠」と題する小冊子 [4] を出しています。興味のある方はそちらもご覧下さい。

0.3 三手の詰連珠

詰連珠の解答にある‘黒3後 A または (イロハ) の四三勝ち’や‘白3後 A にて X 点三々禁’のように、攻め手側の2手目を打った時に確実に勝ちとなる状

況になる問題を集めています。詰連珠としては“5 珠打上げ”となりますが、確実な勝ちの状況として“白の三々勝ち”や“三による禁手狙い”の問題も含めています。

「一手の……」では実現できない様々な趣旨の易しめの詰連珠が可能で、「一手の……」を卒業された初級者の方はこのクラスの問題を多く解いてみることをお勧めします。本小冊子でも最も多くの問題を載せています。

0.4 長めの詰連珠

「三手の……」よりは“長め”の詰連珠問題を集めています。“長め”とは言え、‘黒5 後、……’あるいは‘白7 後、……’のように「五手の詰連珠」あるいは「七手の詰連珠」に相当する問題に限っています。好手・好防が織り交ざった実戦にも役立つ手順を含む問題が多く、手筋を学び読む力を養う良い練習問題になっています。

0.5 序盤の詰連珠

実戦ではまず黒も白も攻めの拠点となる好形を目指します。黒が先着していますので、序盤での白の緩い手はいっきに黒勝ちの形にできることがあります。一方、序盤での黒の一見“好形”は逆に三々禁の卵でもあります。開局規定によってはこれまでに見たこともない序盤が出現することもあり、黒も白も三々禁への注意を払って打つ必要があります。この章では黒石が6個以内の序盤における問題を集めています。白先では主に三々禁に絡んだ問題ですが、そうでないものも含まれています。

0.6 ひとめの詰連珠

ある種の局面を上級者が見ると、“ひとめ”で初手の着手場所あるいは最終の勝ち形がひらめき、追詰めの有無を直感的に判断できることがあります。ただ

し、すべての変化も含め最後の勝ちまで読み切ることは即座にというわけではなく十分な時間が必要でしょう。

この章には、完成までの手数は様々ですが、そのような局面の問題を集めています。追詰めを可能とする好手を見つけるセンスを養うことができます。初手が分かって追詰めを完全に示すにはすぐれた読みの力が必要です。読みによって間違いなく追詰めがあることを確認する訓練もできるでしょう。

0.7 逆転の詰連珠

相手の勝ちになっているように見える絶体絶命の局面にもかかわらず、起死回生の好手によって逆転の勝ちにもっていける問題を集めています。相手は直ちにあるいは四追いで四三を作ることができそうであったり、相手の禁手狙いが成功しそうであったりします。このような危険な局面から脱却し、逆に勝ちにもっていくための手筋を見ることができます。ここではノリ手・ノり返しの手筋や、禁手に絡む連珠の法則の応用等が出てきます。

0.8 六路の詰連珠

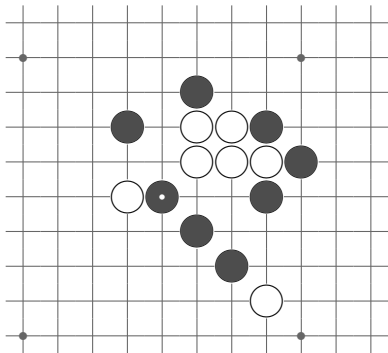
複雑な問題領域に対して性質を損なうことなく小さくすることは、考え方を容易にし本質を見やすくする効果があります。詰連珠を成立させる最小の盤は六路です(五路では三を作れません)。六路という小さな世界でありながら、詰連珠の本質的な面白さを十分に楽しめる問題が多く作られています。既に六路盤詰連珠の小冊子 [5] を出していますが、この章ではそれ以降に作られた問題を集めています。

[4] 真野芳久：「一手の詰連珠」、東海連珠会, 2014.9、第3刷 2023.12。

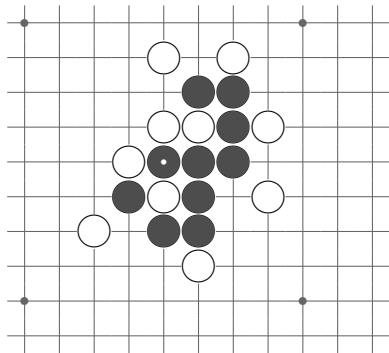
[5] 真野芳久：「六路盤詰連珠作品集 1～5」、東海連珠会, 2011.11～2012.12、第2版/第2刷 2017.11。

これらの小冊子は、本小冊子と同様に、東海連珠会ホームページの連珠資料のページから pdf ファイルとして入手可能です。

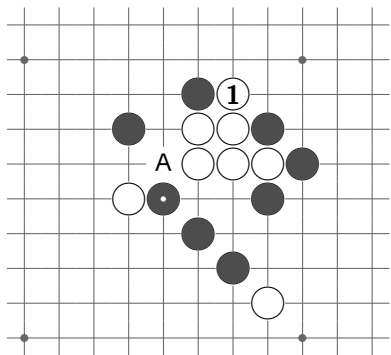
1 ゼロ手の詰連珠



【問 1-1：白先】白に四三の点がありますが…。

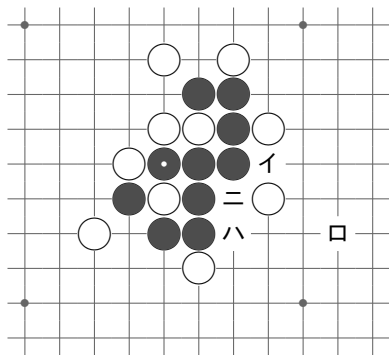


【問 1-2：黒先】四三々の点があります。



【問 1-1】白 1 の三々勝ち。

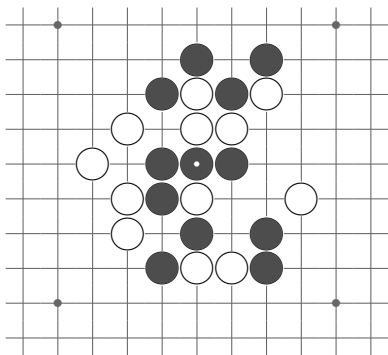
※ A の四三を打つと、黒のノリ手のため勝てなくなります。



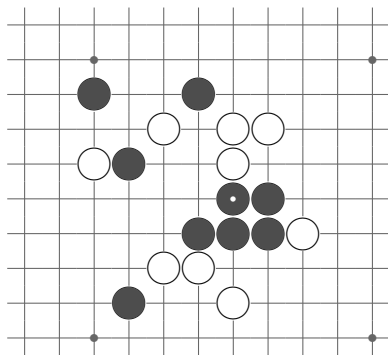
【問 1-2】黒 (イロハ) の四三勝ち。

ロの黒石のおかげで、ハとした時の横が長連筋の夏止めのため、三でなくなっています。

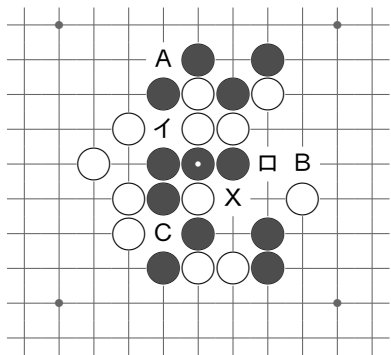
※ (イニ) はノラれています。



【問 1-3：黒先】ノリ手や禁点が多くありますが、勝つ方法があります。



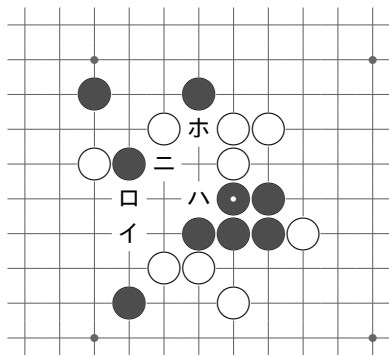
【問 1-4：黒先】四でのノリ手の応酬です。



【問 1-3】黒(イロ)の達四勝ち。

問題図で黒口は禁点ですが、イと打つことで黒口の時の X 点は四々のため、口は四三々でなく四三です。

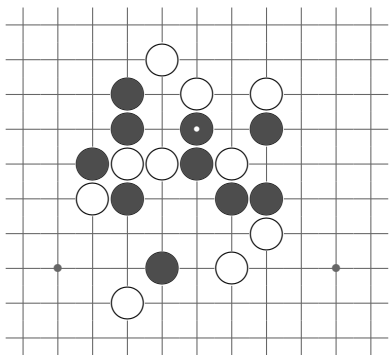
※ A や B は四三ですがノリ手で勝てず、C は四三になっていません。



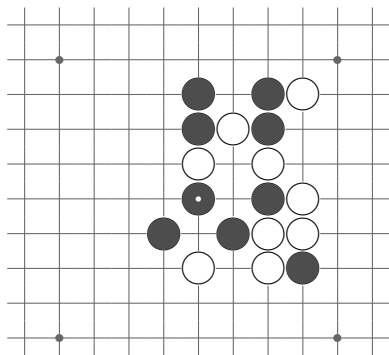
【問 1-4】黒(イロハニホ)の四三勝ち。

黒イと打つとノリ手・ノリ手で自然に四三までいきます。

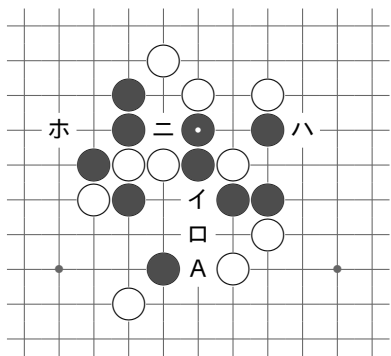
“四追い”と言われていれば、これしかないと分かります。



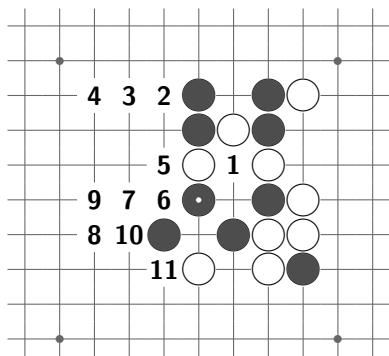
【問 1-5：黒先】四々禁にされそうです。投了でしょうか。



【問 1-6：黒先】四追いで勝って下さい。四三まで11回です。

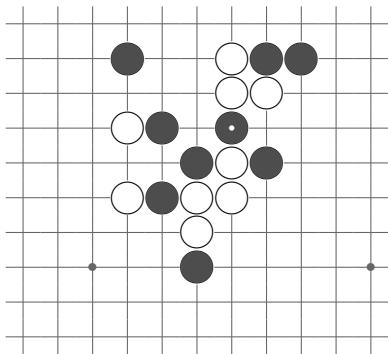


【問 1-5】黒(イロハニホ)の四三勝ち。
 # ハとすることでニの四々禁が解除され、打てるようになります。
 ※ (イ A) はノラれています。

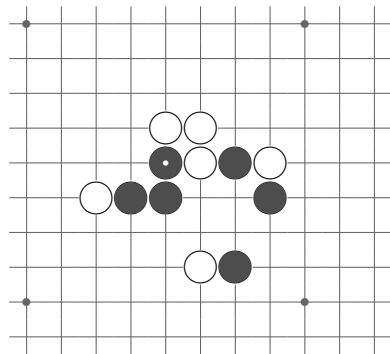


【問 1-6】黒 1~11 の四追いで四三勝ち。

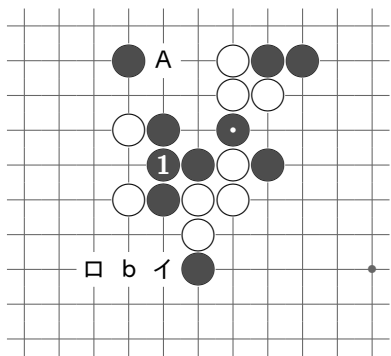
2 一手の詰連珠



【問 2-1：黒先】短いですが四追いも読んで下さい。

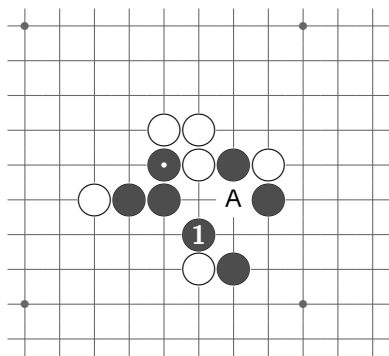


【問 2-2：黒先】黒に四三の点がありますが…。



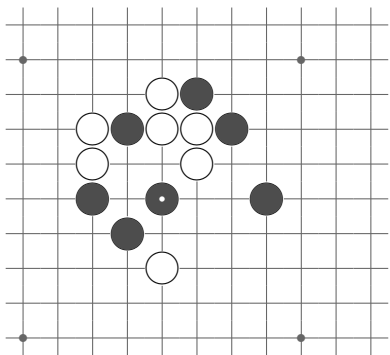
【問 2-1】黒 1 後、A または (イロ) の四三勝ち。

※ 初手でイは白 b と防がれます。初手から A 後の四追いはノラれています。

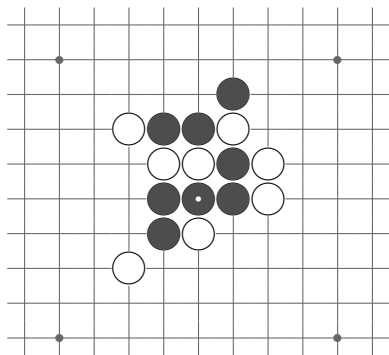


【問 2-2】黒 1 後、A の四三勝ち。

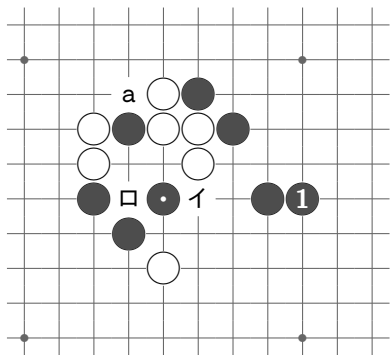
※ 初手で A は四三ですが、白の勝ちになります。



【問 2-3：黒先】長連筋をうまく使います。



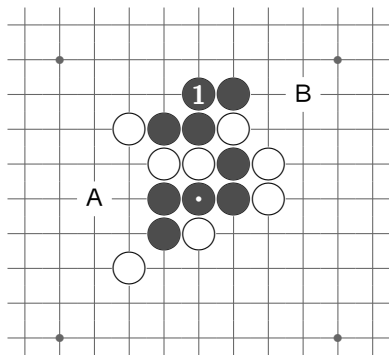
【問 2-4：黒先】1手で勝ちが見えます。



【問 2-3】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち。

※ イとして 1 またはロの両ミセには、

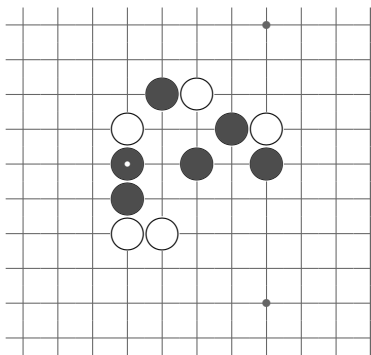
白 a の防ぎがあります。



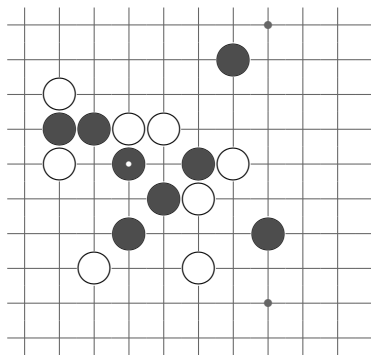
【問 2-4】黒 1 後、A または B の四三

勝ち。

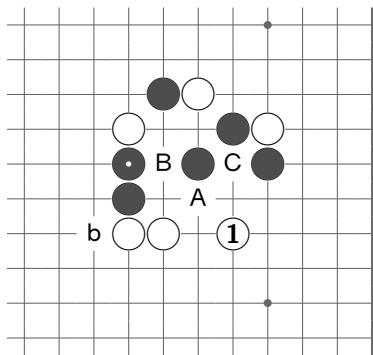
四ノビすると勝てなくなります。



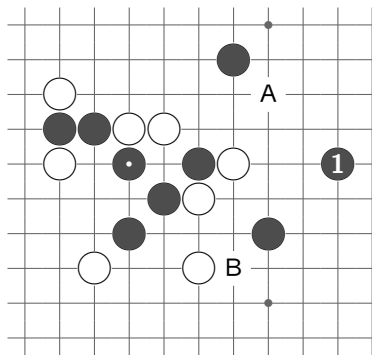
【問 2-5：白先】黒の剣先の威力を無効にします。



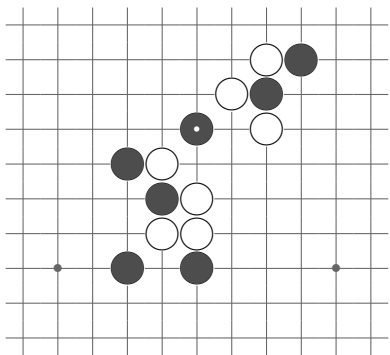
【問 2-6：黒先】盤を広く見ます。



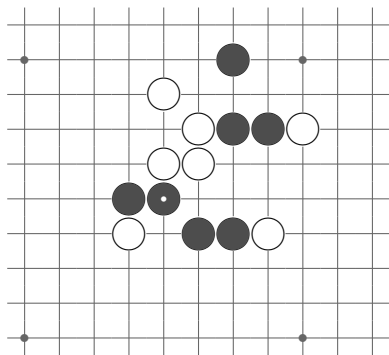
【問 2-5】白 1 後、A の三々勝ち。
 黒が四で一方の三を止めても、B または C のノリ切り達四勝ち。
 # 黒 b と四三をミセられても心配ありません。



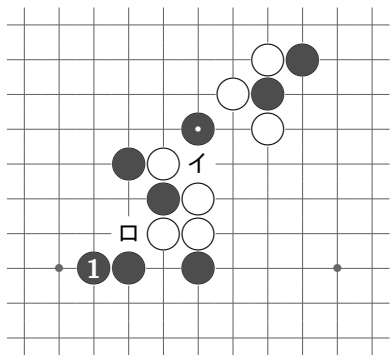
【問 2-6】黒 1 後、A または B の四三勝ち。
 # 四ノビをすると勝てなくなります。



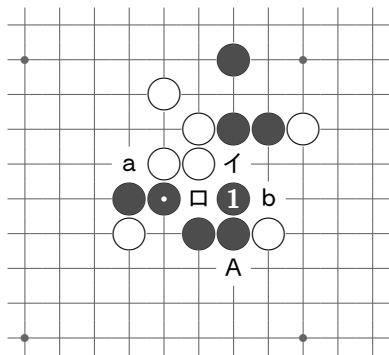
【問 2-7：黒先】斜めの筋をずっと延長してみると…。



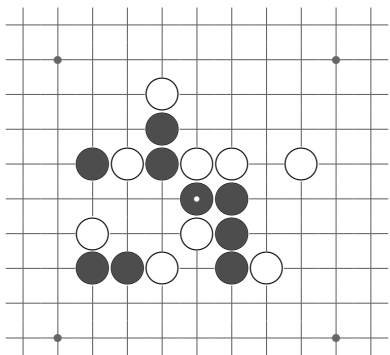
【問 2-8：黒先】防ぎにも注意して。



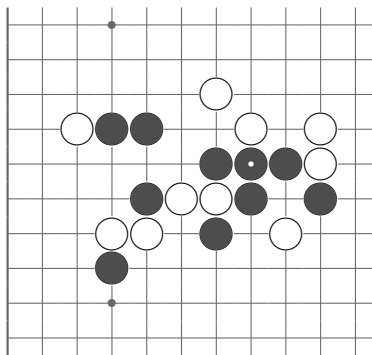
【問 2-7】黒1後、(イロ)の四三勝ち。
 ※ 先にイやロを打ってはいけません。



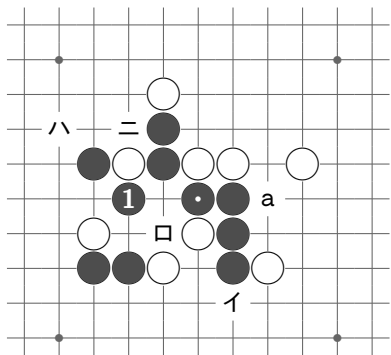
【問 2-8】黒1後、Aまたは(イロ)の
 四三勝ち。
 # 黒1は縦が三でなく、否三々です。
 ※ 初手でAは白aと止められます。
 # 白bの防ぎを見落とさないように。



【問 2-9：黒先】1手打って四追い勝ちになります。

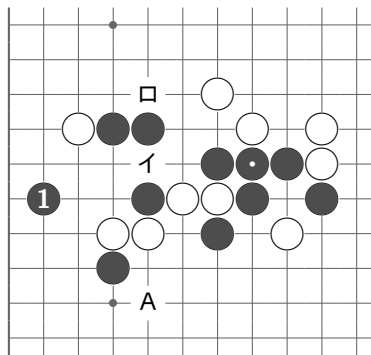


【問 2-10：黒先】上下を結び付けようと筋を追っていけば、着手が見えてきます。



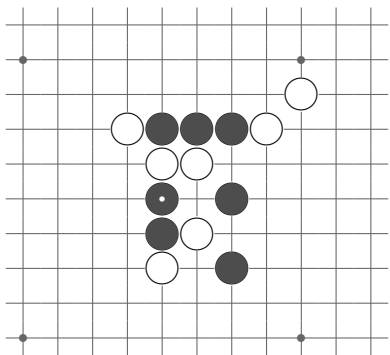
【問 2-9】黒 1 後、(イロハニ) の四三勝ち。

白が a と四三ミセで止めても、四追いがあります。

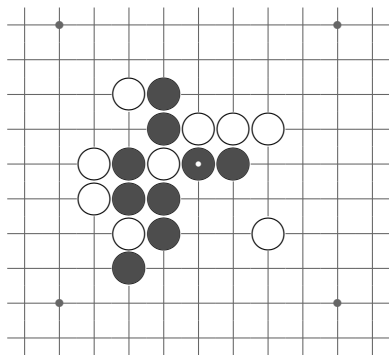


【問 2-10】黒 1 後、A または (イロ) の四三勝ち。

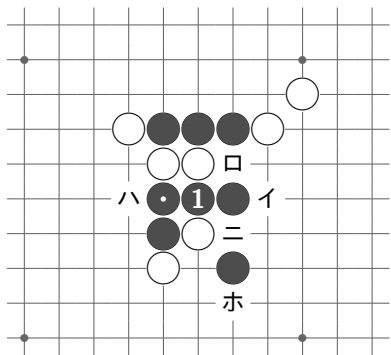
ここではいくつかの四ノビをしても勝ちは逃げませんが、四ノビは最後にするようにします。



【問 2-11：黒先】三・四三ではありま
せん

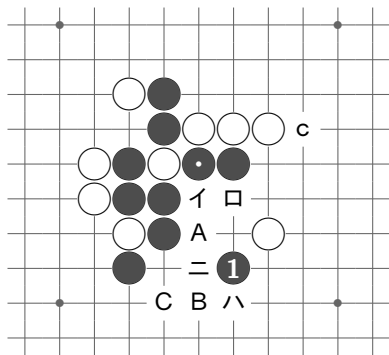


【問 2-12：黒先】しっかりと読み切っ
て下さい。



【問 2-11】黒 1 後、(イロ) または (ハニホ) の四三勝ち。

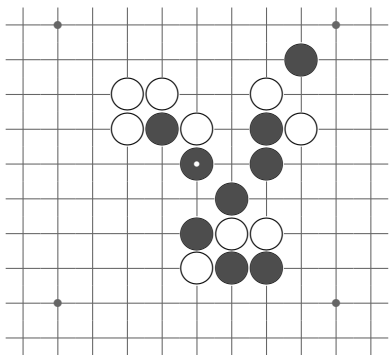
※ ‘イ後ロ’ や ‘ハ後 (ニホ)’ はノリ手があり勝てません。



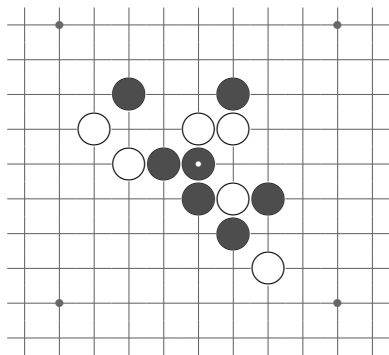
【問 2-12】黒 1 後、(イロハニ) または (A イニ) の四三勝ち。

白 2 での右下止めにも対応できるように、2つの四追いが必要です。

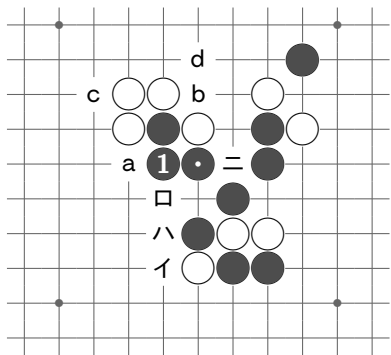
※ 初手で A は白 1、B は白イと防がれます。初手のニには白 1 で、次の C には白 c の四ノビ後の B です。



【問 2-13：黒先】白も良い形をしています。

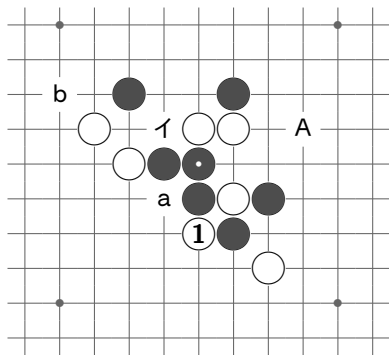


【問 2-14：白先】黒には剣先があります。



【問 2-13】黒 1 後、(イロ) または (イハニ) の四三勝ち。

※ 初手でロは白 a、a は白 b・c・d とされて白勝ちになります。

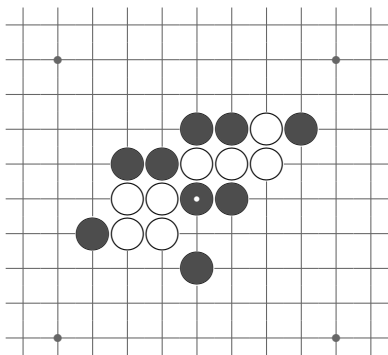


【問 2-14】白 1 後、A の三々勝ち。

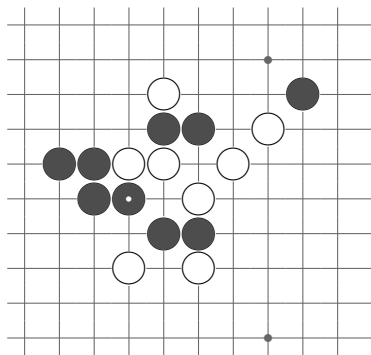
a や b と止められても、黒の四ノビは怖くありません。

※ ‘白 1 後 (イ A)’ ではありません。

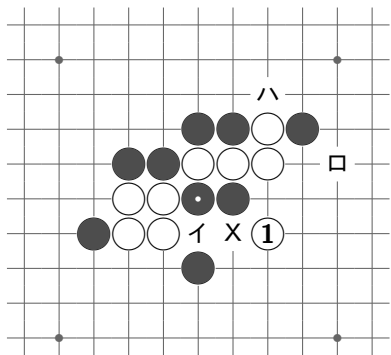
※ 初手で A は黒イと止められ、黒に勝ちが残ります。



【問 2-15：白先】黒の止め方のそれぞれに対する勝ちを読み切ってください。

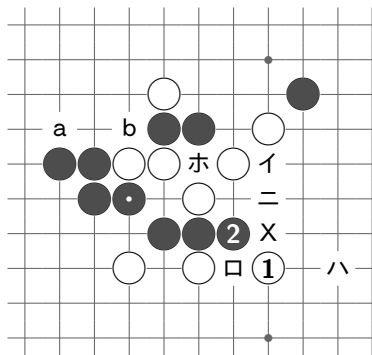


【問 2-16：白先】黒には四追いがありますが、うまく対処して勝ちにもって行ってください。



【問 2-15】白 1 後、イまたは (ロイ) での X 点三々禁、あるいは (ロハイ) での X 点四々禁。

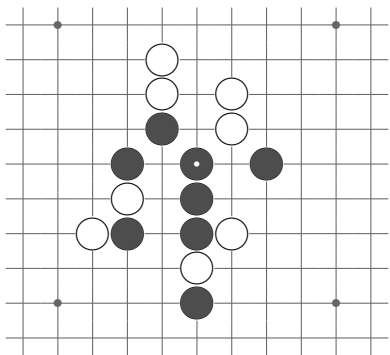
トビ三に対する 3 通りの防ぎに、異なる勝ち方を用意します。



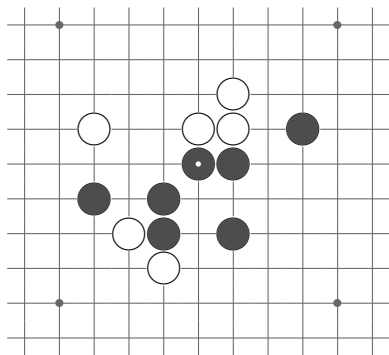
【問 2-16】黒の四追いをノル白 1 で 2 と打たせ、(イロハニ) の X 点四々禁。黒 a・b には、(イニ) の X 点三々禁、(2ロ) や (2イニ) の四三勝ち。

※ 初手で 2 は黒 1 と止められ、黒の四追いが復活して失敗です。

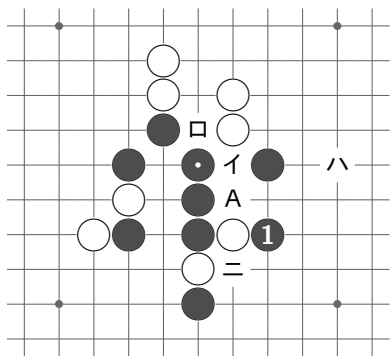
※ ‘(ホロ) で三々禁’ ではありません。



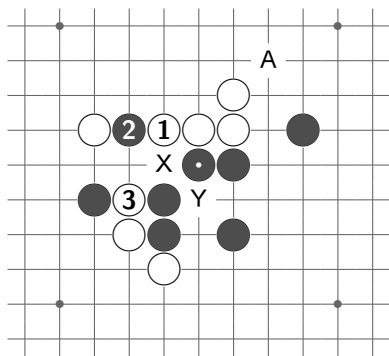
【問 2-17：黒先】ノラれてノッて勝ちに導きます。



【問 2-18：白先】深く考えなければ易しいかもしれない、という不思議な問題です。

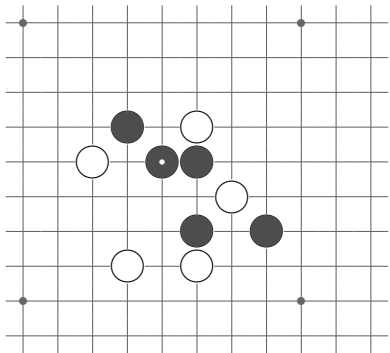


【問 2-17】黒 1 後、A または (イロハニ) の四三勝ち。

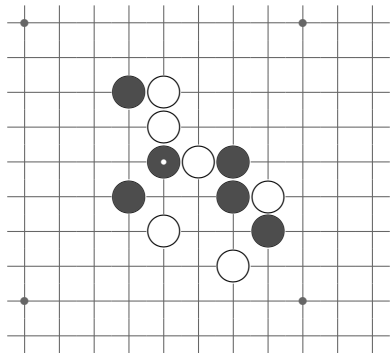


【問 2-18】白 3 にて X 点三々禁。
 # 黒 2 の時点では、黒 X としても Y 点四三々のため、X 点は否禁点です。白 3 の瞬間に禁点に変わります。
 ※ 白 3 を A では黒 X と打つことができ、黒勝ちとなります。
 ※ ‘3 後 2’ は、ノラれます。

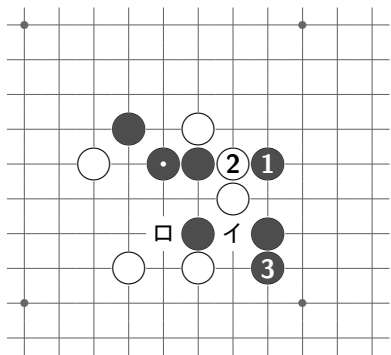
3 三手の詰連珠



【問 3-1：黒先】三々の点を四三にします。

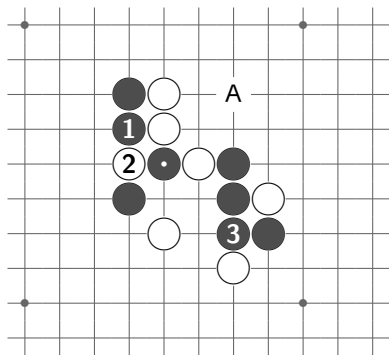


【問 3-2：黒先】トビ三の練習です。



【問 3-1】 黒 3 後、イの四三勝ち、または (イロ) のノリ切り達四勝ち。白 2 で他は、3 後イの四三勝ち。

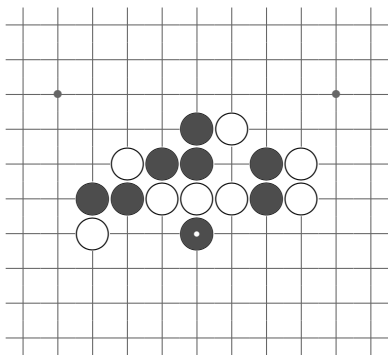
白 4 が上止めの時も考えに入れて下さい。



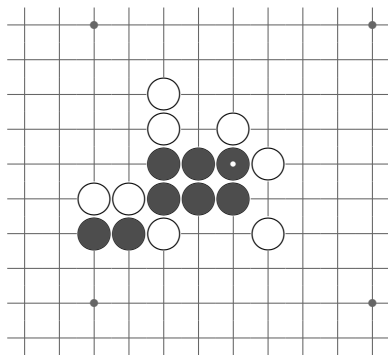
【問 3-2】 黒 3 後、A の四三勝ち。

白 2 で他も同じ。

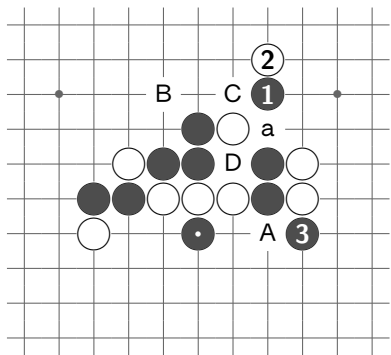
トビ三、トビ四の筋が見えるようになれば簡単。



【問 3-3：黒先】こちらかあちらで。



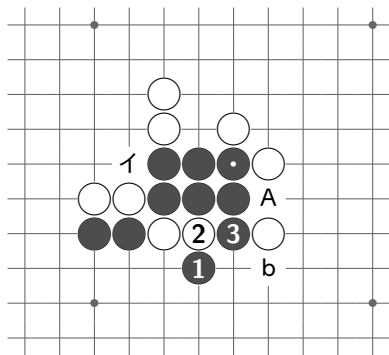
【問 3-4：黒先】四三を作れそうな場所はあるのですが、単純に考えるとノられます。



【問 3-3】黒 3 後、A の四三勝ち。
白 2 で他は、B 後 C の四三勝ち。

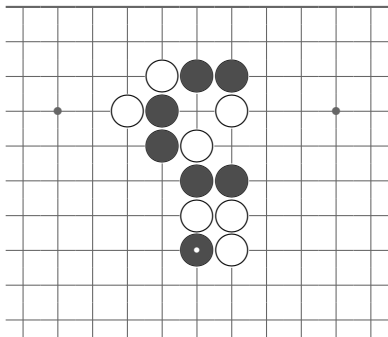
※ 初手で A は白 a、a は白 A、D は白 3 と防がれます。

※ 初手で 3 としてからの四追いはノラれています。

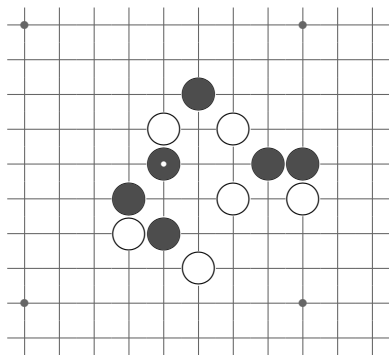


【問 3-4】黒 3 後、A の四三勝ち。
白 2 で他は、(2 イ) の四三勝ち。

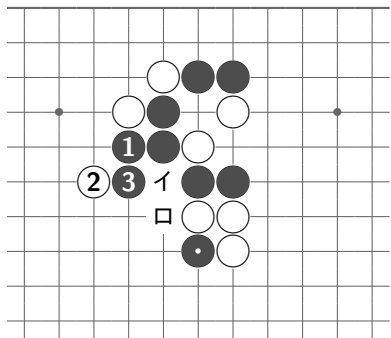
※ 初手で 2 は白 1 と、3 は白 b と止められます。



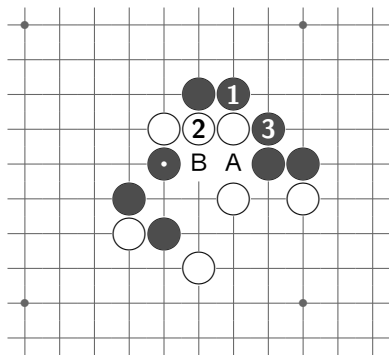
【問 3-5：黒先】三々を打たないようにうまく打ちまわします。



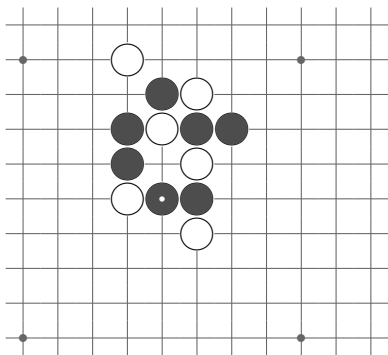
【問 3-6：黒先】‘三・四三’はノラれています。



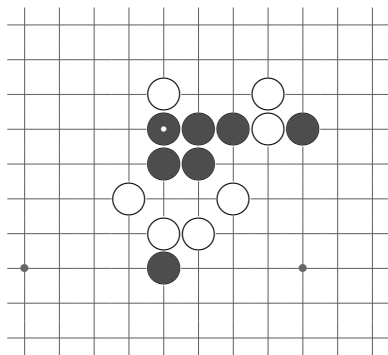
【問 3-5】黒 3 後、(イロ) の四三勝ち。
 白 2 反対は、(2 3) の四三勝ち。
 # 白に 2 と打たせて、3 の点に打てる
 ようにしています。
 ※ 初手から '2 後 3' はノラれます。黒
 3 でイは、白 3 と止められます。



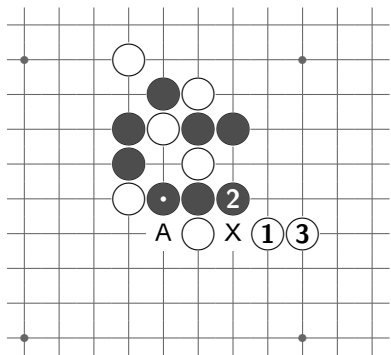
【問 3-6】黒 3 後、A の四三勝ち。
 白 2 で他は、(2 B) の四三勝ち。
 ※ 初手で 2 は白 1 と止められ、B の
 四三はノラれています。



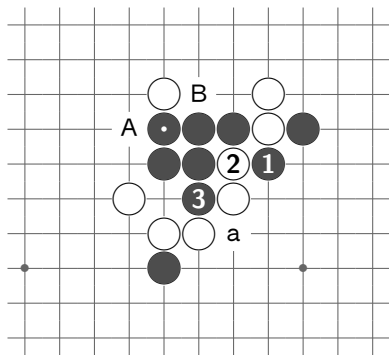
【問 3-7：白先】禁手にできます。



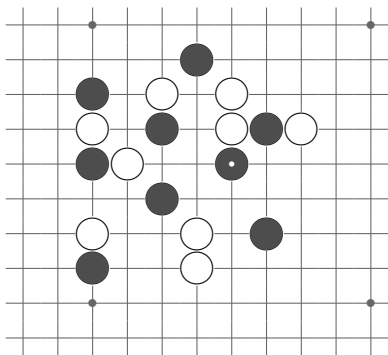
【問 3-8：黒先】両ミセにします。



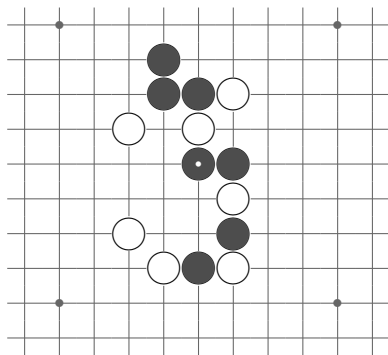
【問 3-7】 白 3 にて X 点三々禁。
 黒 2 で他は、四ノビで 2 の点に打たせて、同様。
 ※ 白 3 で A とすると、黒勝ちになります。



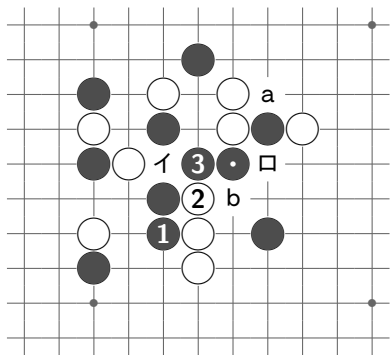
【問 3-8】 黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他も同じ。
 # 1 と打てれば自然な手順ですが、気付きにくい筋でした。
 ※ 初手で 3 は、白 a と防がれます。



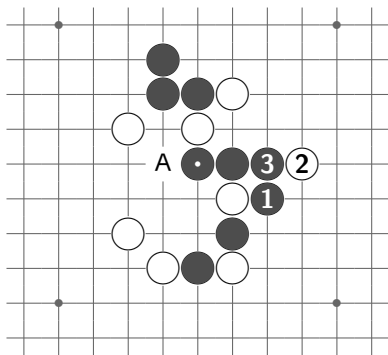
【問 3-9：黒先】どの三をヒイても白の三がありますが、それを乗り越えて…。



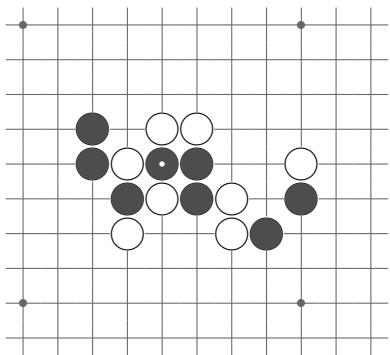
【問 3-10：黒先】『三々は四三の卵』と言われるます。



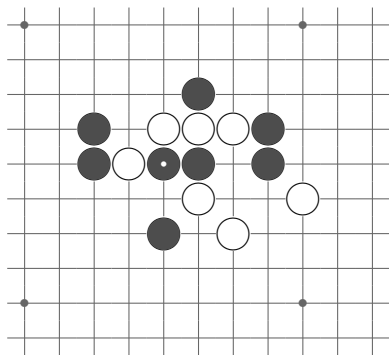
【問 3-9】黒 3 後、(イロ) の四三勝ち。
 白 2 で他は、(2 イ) の四三勝ち。
 ※ 初手でイは白 1、ロは白 a、3 は白
 b です。



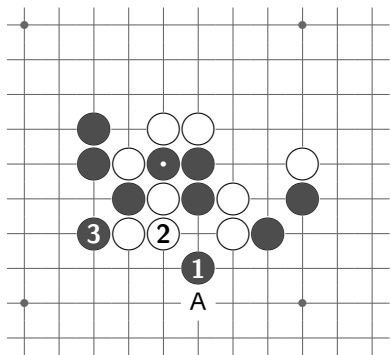
【問 3-10】黒 3 後、A の四三勝ち。
 白 2 反対は、2 の四三勝ち。
 # 白 2 と打たせて 3 の点に打てるよ
 うにします。



【問 3-11：黒先】ノリ手防ぎを防ぎます。

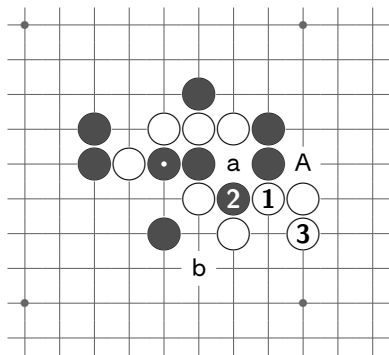


【問 3-12：白先】三々がありますが、打ってはいけません。



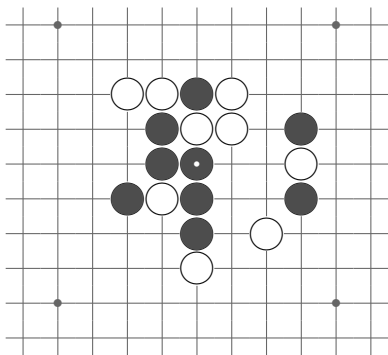
【問 3-11】 黒 3 後、A の四三勝ち。
 白 2 で他は、A の四三勝ち。

※ 初手で A や 3 は、ノリ手防ぎに
 あって勝てません。

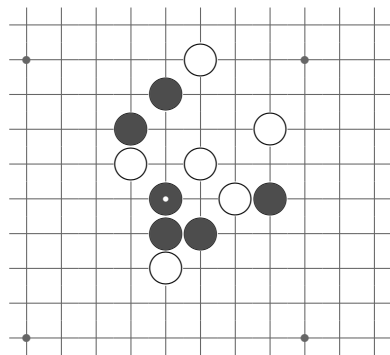


【問 3-12】 白 3 後、A の三々勝ち。
 黒 2 で他は、2 の四三勝ち。黒の四ノ
 ビは無効。

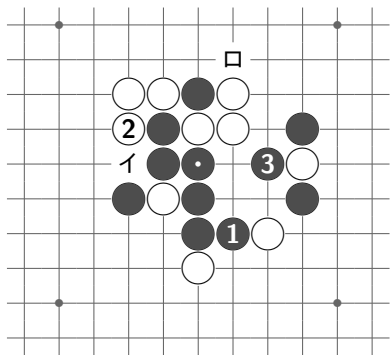
※ 初手で 2 は、黒 a・1 と防がれます。
 3 で A は黒 b と防がれます。



【問 3-13：黒先】ノリ手を回避します。



【問 3-14：黒先】‘三・四三’ではありません。

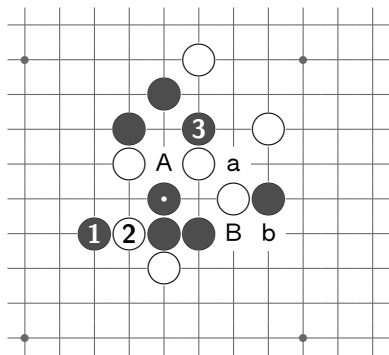


【問 3-13】黒 3 後、イの四三勝ち、または (イ口) のノリ押さえ達四勝ち。

白 2 が反対も同じ。

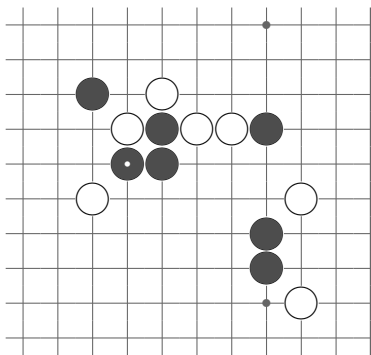
※ 初手で 3 は白のノリ手があります。

黒 1 はノリ手の一端を予め止めておく事前工作の手筋です。

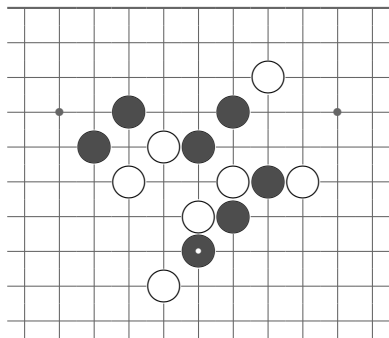


【問 3-14】黒 3 後、A の四三勝ち。白 2 で他にも同じ。

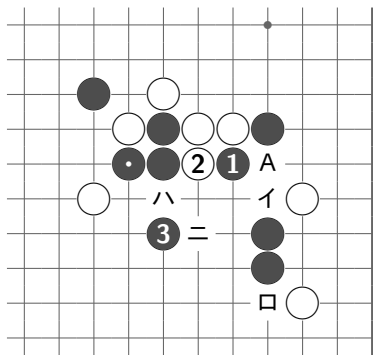
※ 初手で 3 は白 a、B は白 b と止められます。



【問 3-15：黒先】‘四・四三’はノラれています。

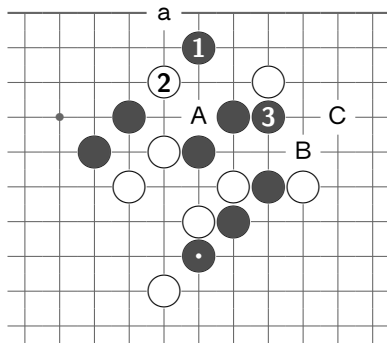


【問 3-16：黒先】白の防ぎにも注意して。



【問 3-15】黒 3 後、(イロハニ) の四三勝ち。白 2 で他は、2 の四三勝ち。

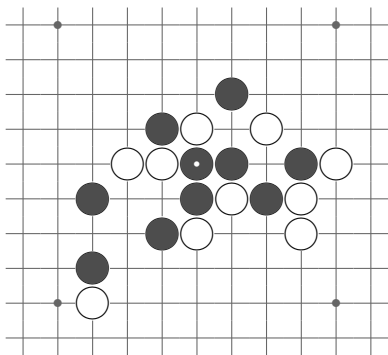
※ 初手からの (A 2) はノラれます。



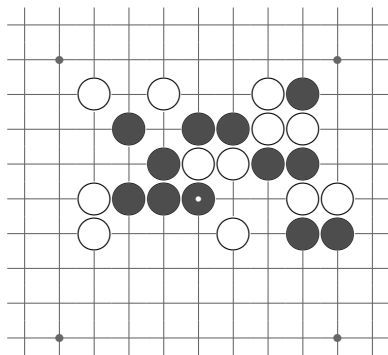
【問 3-16】黒 3 後、A、B または C の四三勝ち。白 2 他も同じ (C は不要)。

白 4 で a の防ぎがあるので、C も必要。

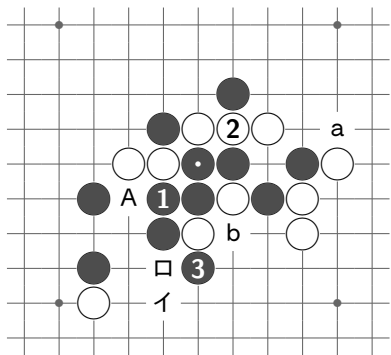
※ 黒 1 または 3 で B の四ノビをすると勝てなくなります。



【問 3-17：黒先】勝ち筋を見つけ、そしてノリ手の有無を調べ、…。



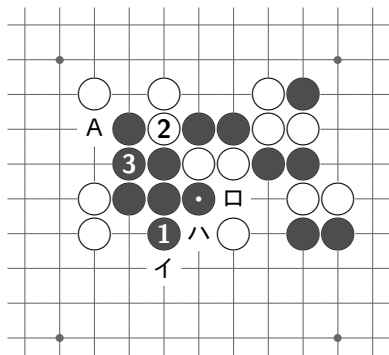
【問 3-18：黒先】白の四ノビに注意しながら攻めます。



【問 3-17】黒 3 後、A の四三勝ち。
白 a の四ノビをしても (イロ) が残る
ため無効。白 2 で他も、3 後 A の四三
勝ち。

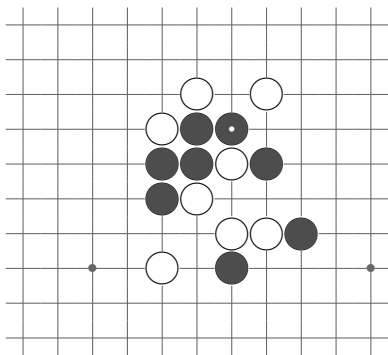
黒 3 は白の四三をノル好手です。

※ 初手で 3 は白 b と止められます。

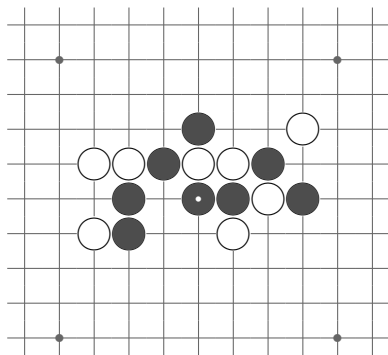


【問 3-18】黒 3 後、(イロハ) の四三勝
ち。白の四ノビ無効。白 2 で他は、3
後 A の四三勝ち。

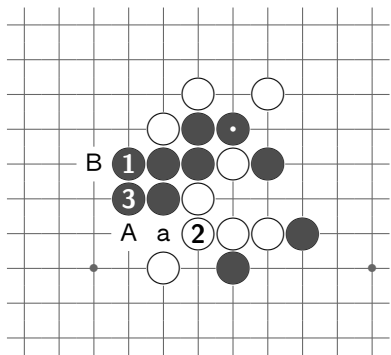
※ 初手でイは、白 A 後に 1 と止めら
れます。



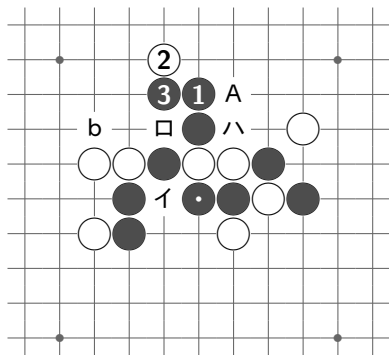
【問 3-19：黒先】手順に注意。



【問 3-20：黒先】早合点しないように。

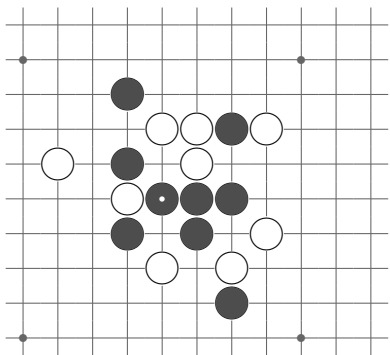


【問 3-19】黒 3 後、A で四三勝ち。
 白 A の四ノビは、B に新たな四三が
 できるため無効。白 2 で他も同様。
 # 白 a の四三は心配ありません。

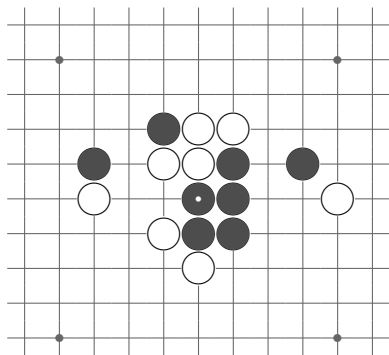


【問 3-20】黒 3 後、A または (イロハ)
 の四三勝ち。白 2 で他は、3 後 A ま
 たはイ、あるいは (2 イ 3 A) の四三
 勝ち。

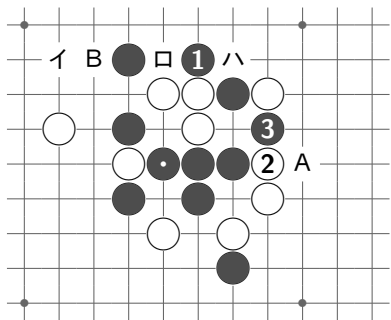
※ 初手からのハ・ロや、黒 3 での‘ロ
 後イまたはハ’には、白 b です。



【問 3-21：黒先】2つの剣先を利用します。

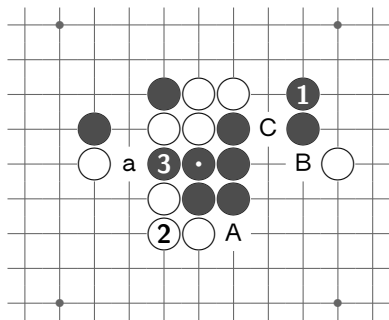


【問 3-22：黒先】‘三・四三’ではありませんが、それを念頭に置いて打ちます。



【問 3-21】黒 3 後、(イロハ) の四三勝ち。白 2 で他は、A、(イロハ)、または (2 イロハ) の四三勝ち、あるいは (A 3) のノリ切り達四勝ち。

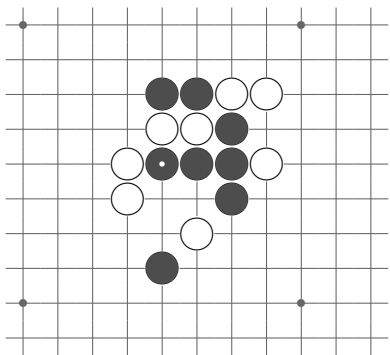
※ 初手で口は白 1、B は口と防がれます。‘ハ・1 後 A’ の狙いはノラれます。



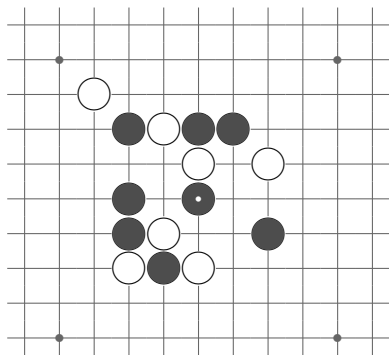
【問 3-22】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 他も同じ。

黒 1 の効果で、3 の三をどこに止められても勝ちが残ります。

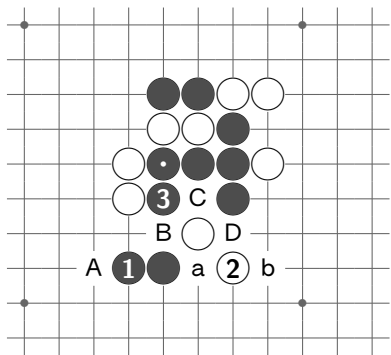
※ 初手で C は白 1、次の 3 には白 a です。



【問 3-23：黒先】好手でほぼ決まり。



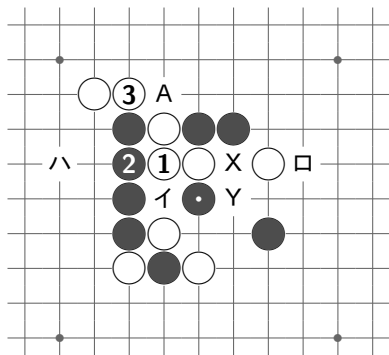
【問 3-24：白先】禁手狙いを絡めますが、変化にも注意が必要です。



【問 3-23】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で a か A は ‘C 後 D’、他は ‘A 後 (3 B)’ または (2 A 3 B) の四三勝ち。

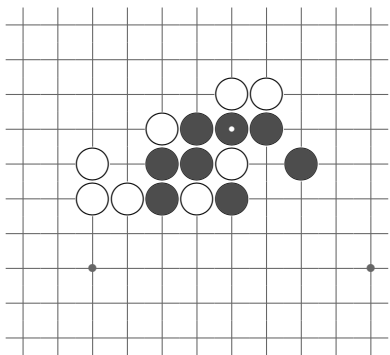
黒 1 の好手で種々の勝ち筋が発生。

※ 初手で 3 は白 B と防がれます。

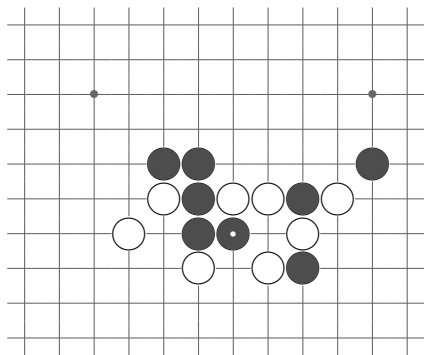


【問 3-24】白 3 後、A の四三勝ち、または (イ口) で X 点三々禁。黒 2 で X は、白 3 後 A の四三勝ち、または Y 点三々禁。黒 2 で口または 3 は、(2 ハイ) で A 点三々禁。

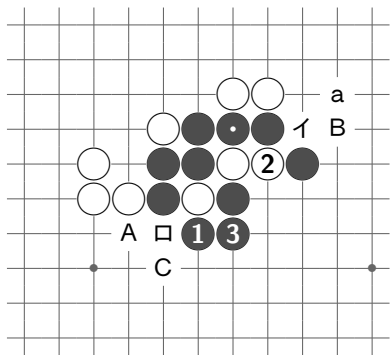
黒 2 で 3 の変化も忘れないように。



【問 3-25：黒先】2つの剣先をうまく利用します。

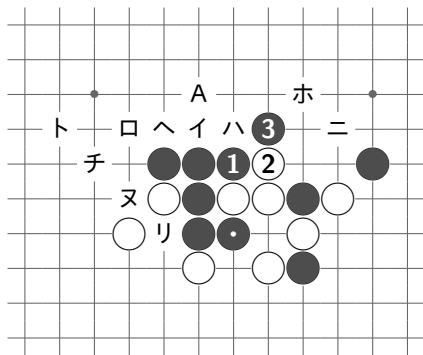


【問 3-26：黒先】最後はちょっと長めの四追いです。



【問 3-25】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で a は (イ C 口 A) の四三勝ち。白 2 で他は、同じ、または口後 A または C の四三勝ち (C 後 (口 A) も可)。

※ 初手で 3 は白 B、口は白 1 と防がれます。

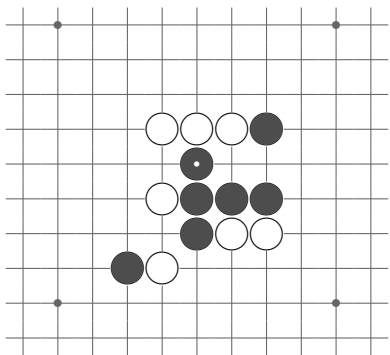


【問 3-26】黒 3 後、(イロハニホ) または (イロヘトチリヌ) の四三勝ち。

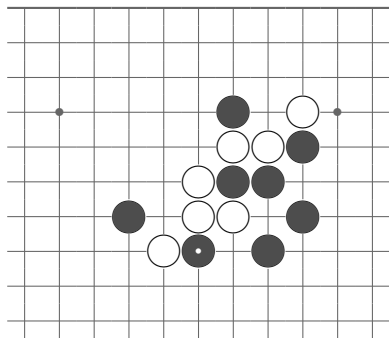
白 2 反対は、(2 A) の四三勝ち。

黒 3 の三をどちらに止めても少し長めの四追いになります。

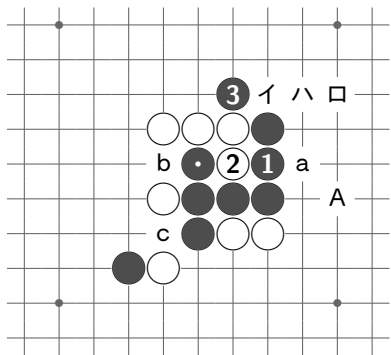
※ 初手で 2 は、白 1 でノラれます。



【問 3-27：黒先】白の四ノビの効果
なくします。

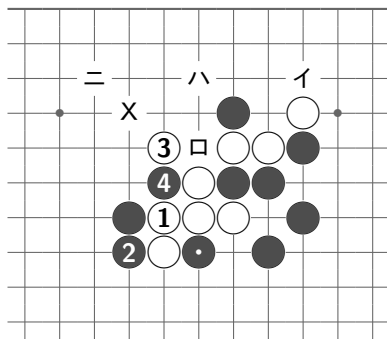


【問 3-28：白先】禁手にハマます。

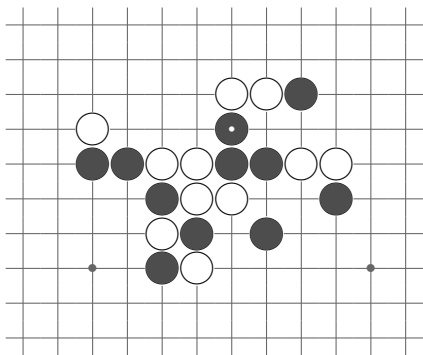


【問 3-27】黒 3 後、A または (イロ) の四三勝ち。白 2 で a は、(2 b イロハ) の四三勝ち。白 2 で b や c の四ノビは、結局 2 あるいは a の防ぎとなり、四ノビ無効。白 2 で他は、(2 b) のノリ切り達四勝ち。

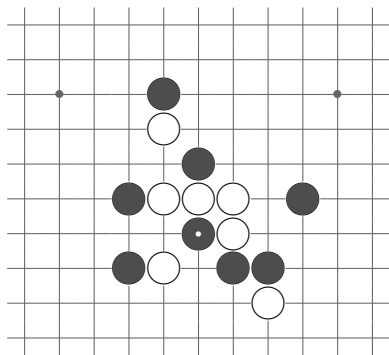
※ 初手で 3 は白 a と止められます。



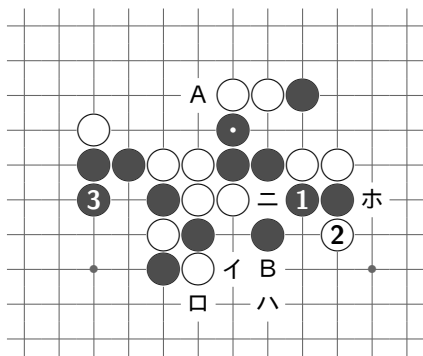
【問 3-28】白 1・3 と三をヒキ、黒 2・4 なら (イロハニ) にて X 点四々禁。黒 2、4 が他も、同様にして X 点四々禁 (黒 4 で他は、より早い勝ちもある)。



【問 3-29：黒先】三から始めます。

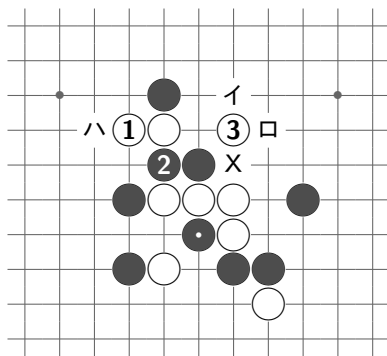


【問 3-30：白先】最後は禁手です。



【問 3-29】黒 3 後、A または (イロ) の四三勝ち。白 2 反対は、(2 ハニホ) の四三勝ち。

※ 初手で 2 は白 1 と止められ、2 種類の四追いともノラれています。初手でニは白 B、B は白ニと止められます。

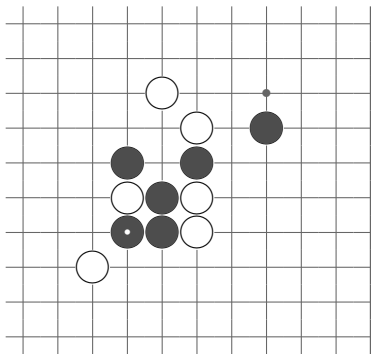


【問 3-30】白 3 後、イ、(ロイ) または (ハイ) で X 点三々禁。黒 2 で四々を防ぐ他も白 3 とし、2 にも打たせる同上の四追いで X 点三々禁。

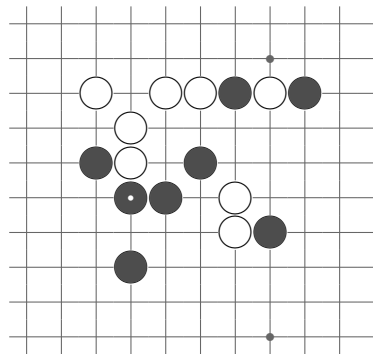
四々をミせる白 1 が好手です。

※ 初手で 3 は、黒 1 と防がれます。

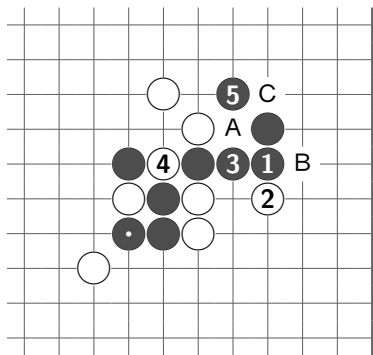
4 長めの詰連珠



【問 4-1：黒先】1手では決まりません。

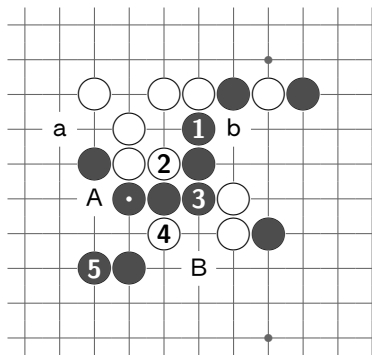


【問 4-2：黒先】白の四ノビへの注意は必要ですが、怖がらずに。



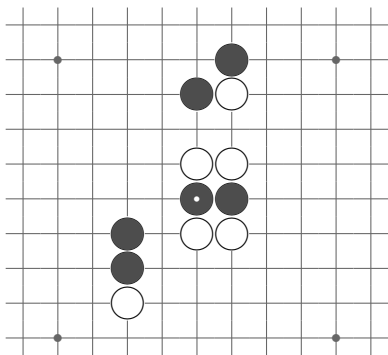
【問 4-1】黒 5 後、A または B の四三勝ち。白 2 が他は、C または 4 の四三勝ち。

両ミセを防ぐ白 2 の好防後の勝ちも読み切って下さい。

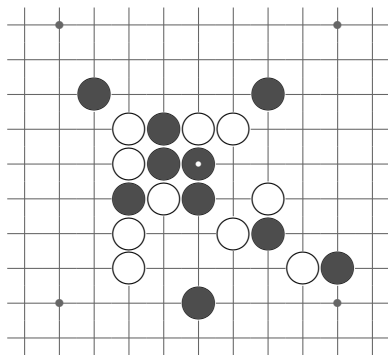


【問 4-2】黒 5 後、A の四三勝ち。白 4 で他は、同じ、あるいは B または (B 4) の四三勝ち。白 2 で他は、4 後 2 の四三勝ち (白の四ノビは無効)。

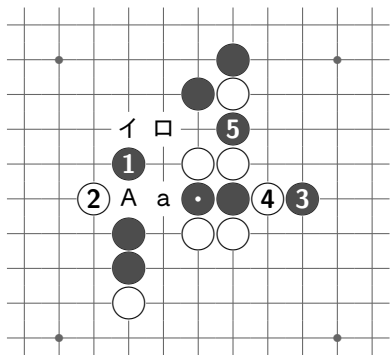
※ 白に 1、a、b に止められるような三をヒクと逆転されます。



【問 4-3：黒先】‘三・四三’ではありませんが、どちらの三からヒイていきますか。

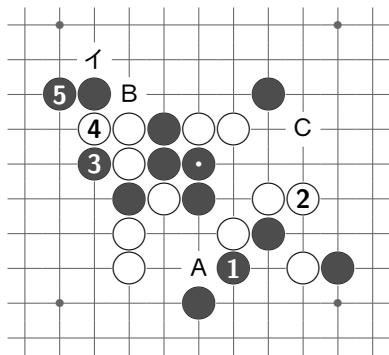


【問 4-4：黒先】2つの剣先を生かしますが、白の防ぎにも注意。



【問 4-3】黒 5 後、(イロ) の四三勝ち。
 白 2 で他は、A の四三勝ち。白 4 で他
 も同じ。

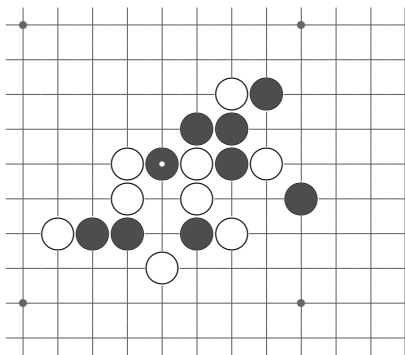
※ 初手で A は白 2、3 は白 a と止め
 られます。



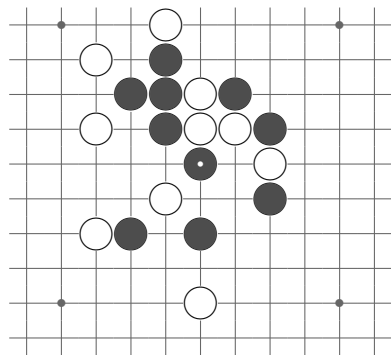
【問 4-4】黒 5 後、A または B の四三
 勝ち。白 4 で他は、A または (B イ)
 の四三勝ち。白 2 反対も同じ (C に打
 つ早詰めもある)。

※ 初手で 3 は、白 4 です。

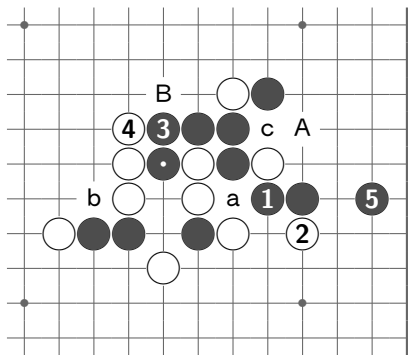
その対処である黒 1 は事前工作の
 手筋です。



【問 4-5：黒先】手順が大事です。



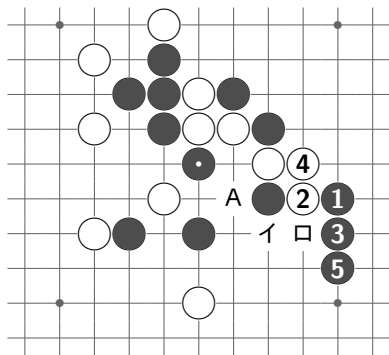
【問 4-6：黒先】‘三・四三’や‘三後四追い’ではないことを確認して下さい。



【問 4-5】黒 5 後、A の四三勝ち。
 白 4 反対は B、白 2 反対は A 後 2 の
 四三勝ち。

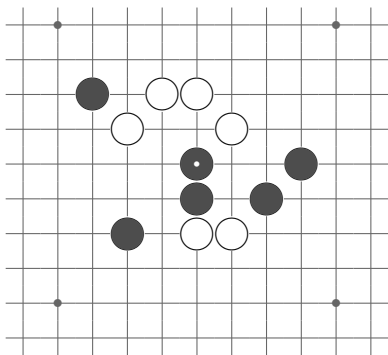
※ 3 から 5・3 と進めるのは、白 a・
 b・c と防がれます。

※ 初手で A は白 3、3 は白 c、B は白
 1 と止められます。

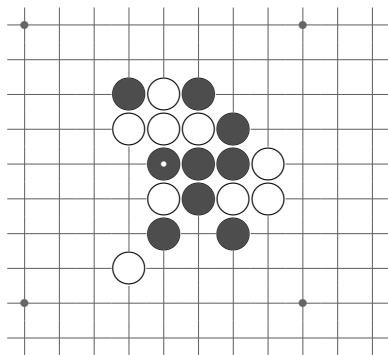


【問 4-6】黒 5 後、(イロ) の四三勝ち。
 白 4 他も同じ。白 2 の四ノビをしな
 いと直ちに A の四三勝ち。

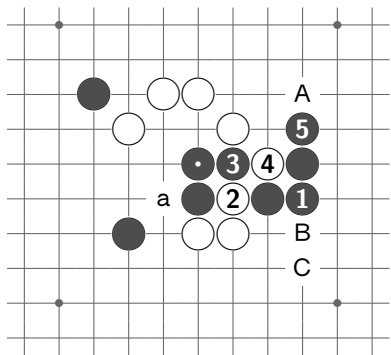
※ 初手で 4 は、白 2・1 と止められ
 ます。



【問 4-7：黒先】最後は両ミセと言ってよい形です。

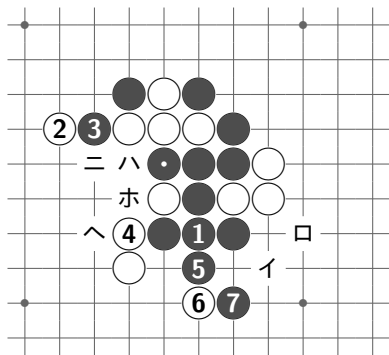


【問 4-8：黒先】白の剣先を気にしながら打ち進めます。



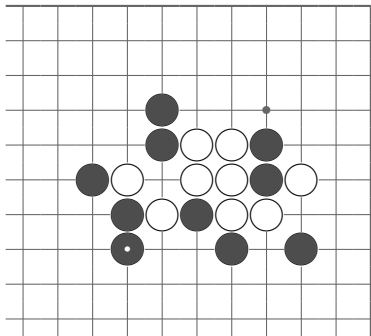
【問 4-7】黒 5 後、A または B の四三勝ち。白 4 で他も同じ。白 2 で他は、C 後 2 の四三勝ち。

※ 初手から 3・1 の順にヒクと、白 4・a と止められます。

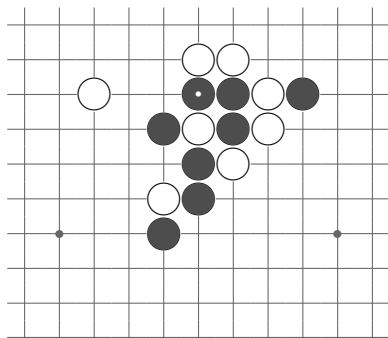


【問 4-8】黒 7 後、(イ□) または (ハイ□) の四三勝ち。白 4 反対は、(5 ニホへ) の四三勝ち。白 2 で三止めは、(5 ニ) の四三勝ち、または (5 ニホ) のノリ切り達四勝ち。

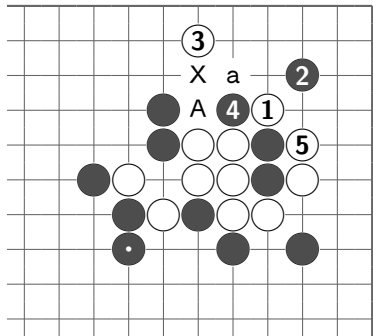
※ 初手で 5 は、白 3・1 で逆転です。



【問 4-9：白先】当然禁手狙いです。

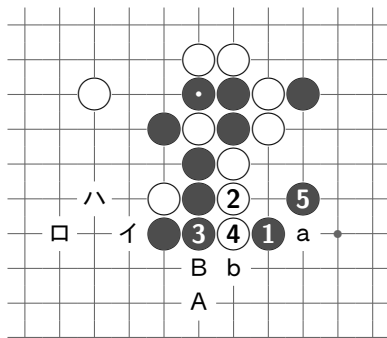


【問 4-10：黒先】ありそうな手筋ですが、手順や白の抵抗にも注意。

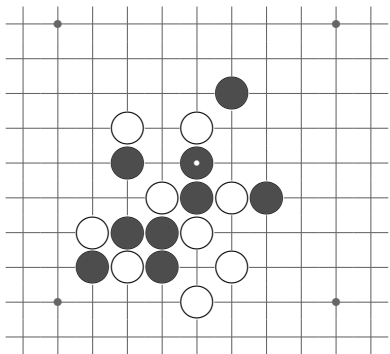


【問 4-9】白 5 で a 点に黒石を置かせ、A にて X 点三々禁。ミセ手を防ぐ 4 で他も直ちに、あるいは四ノビで a 点に黒石を置かせて X 点三々禁。

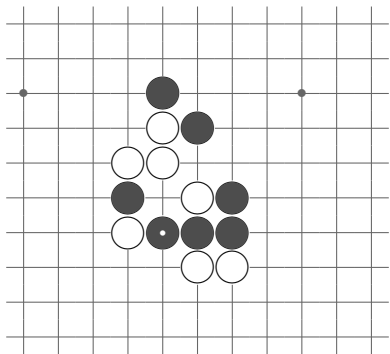
※ 初手で 3 は、黒 1 と防がれます。



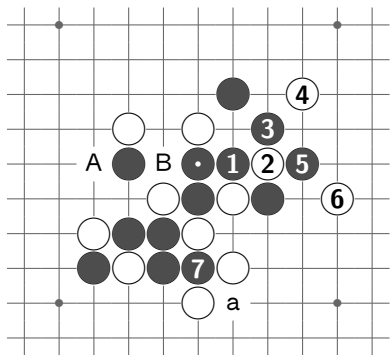
【問 4-10】黒 5 後、A の四三勝ち。白 2 で他も同じ。白 4 で a は、(イロハ A) の四三勝ち。5 後の白 b の四ノビは、B に四三ができるので無効。



【問 4-11：黒先】白の好形の間隙を縫って…。



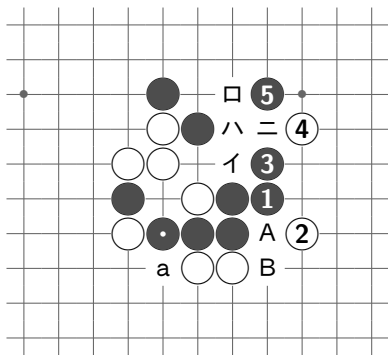
【問 4-12：黒先】右上に黒の勢力を作ります。



【問 4-11】黒 7 後、A の四三勝ち。
 白 6 反対も同じ。白 2 で B は黒 3・5
 後 2 で、A は (2 3) の四三勝ち。

黒 3 の四ノビは必要です。

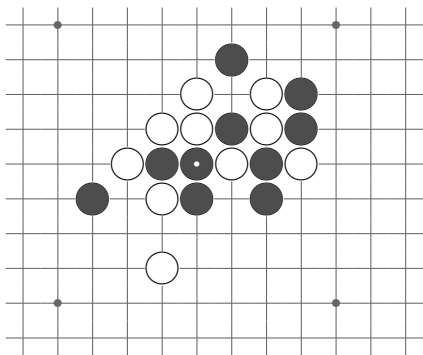
※ 初手で 3 や 2 のフクミ手は、白に
 1 と三で止められます。3 で 7 の方向
 から進めるのは、白 a です。



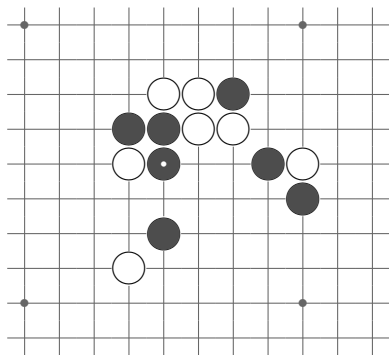
【問 4-12】黒 5 後、(イロ) の四三勝
 ち。白 4 で反対は (4 イハニ)、白 2 で
 他は 3 後 A の四三勝ち。

白 2 止めを強制し勢力を蓄えます。

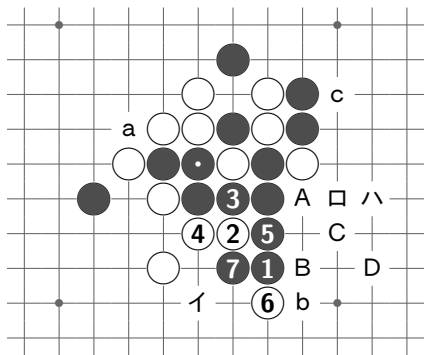
※ 初手で 3 は白 a と止められ、B に
 も白 A で、勝ちはありません。



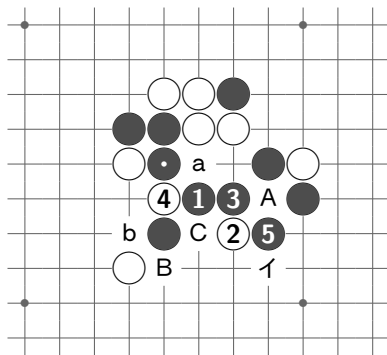
【問 4-13：黒先】よくある勝ち手順に持ち込みます。



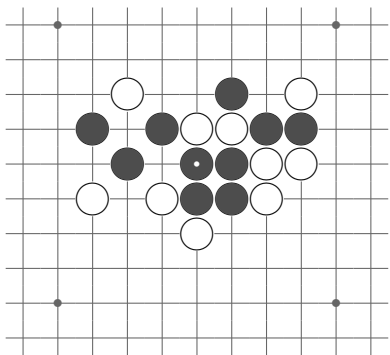
【問 4-14：黒先】一目で解けるほど簡単ではありません。止め方を強制する等の工夫をします。



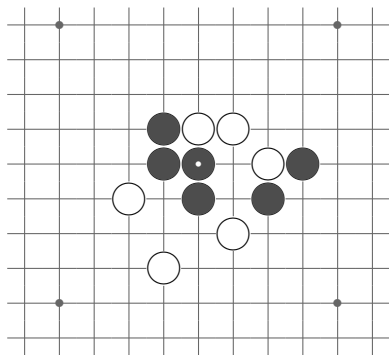
【問 4-13】 黒 7 後、A または B の四三勝ち。白 4 他は、(A 5 B D)。白 2 で a は黒 5・4 後 2 または (3 A イ)。白 2 で b は、C 後 (A 3)、(2 5) または (A ロハ 6) の四三勝ち。
 ※ 3・5 の手順前後は、白 6・7・c と防がれます。



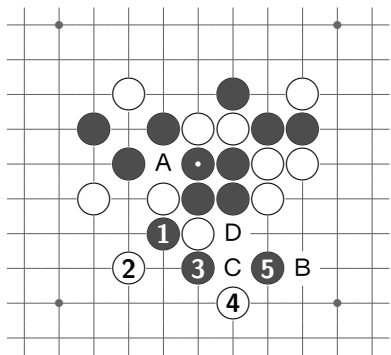
【問 4-14】 黒 5 後、A の四三勝ち。白 4 で他は、B の四三勝ち。白 2 で反対は、(イ 4 A) の四三勝ち。
 # 黒 3 が白 4 を強制する好手でした。
 ※ 初手から 2・C と進めるのは、白 1・a・b と防がれます。



【問 4-15：黒先】横の剣先を有効に使います。

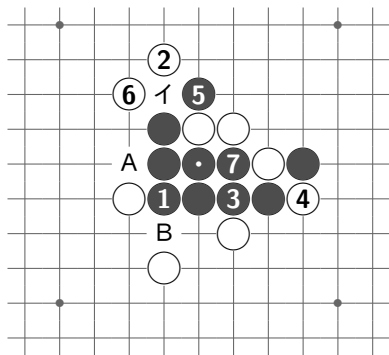


【問 4-16：黒先】‘三・四三’ではありません。



【問 4-15】黒 5 後、A または B の四三勝ち。白 4 で他は、同じ、または 'C 後 4 または B' の四三勝ち。

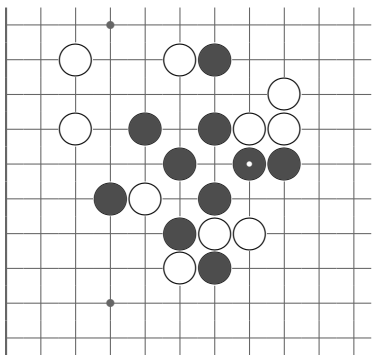
※ 初手で 3 は白 1、C は白 5、5 は白 A、D は白 5 か A と防がれます。



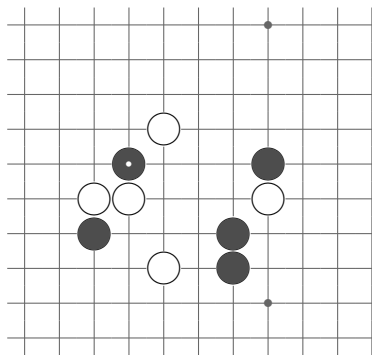
【問 4-16】黒 7 後、A または B の四三勝ち。白 6 で反対は、(6 イ) の四三勝ち。白 2 で他は、3 の四三勝ち。

白 2 の好防夏止めをうっかりしないように。

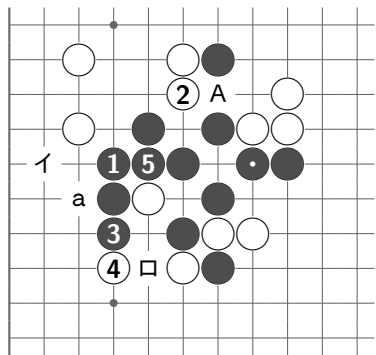
※ 黒 3 の四ノビせずの 5 は、白 3 の三々で逆転です。



【問 4-17：黒先】 剣先を有効に使います。

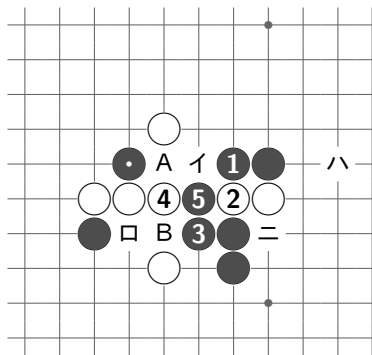


【問 4-18：黒先】 最後は見事な両ミセです。

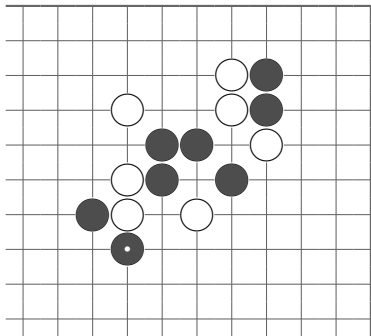


【問 4-17】黒 5 後、A または (イロ) の四三勝ち。白 4 で反対も同じ。白 2 で他は、2 の四三勝ち。

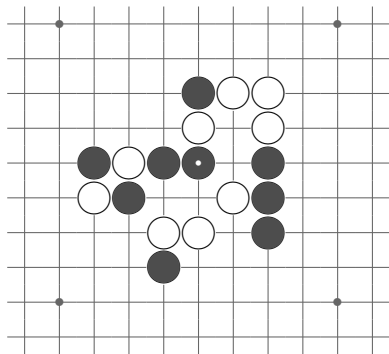
※ 黒 5 でイは、白 a と防がれます。



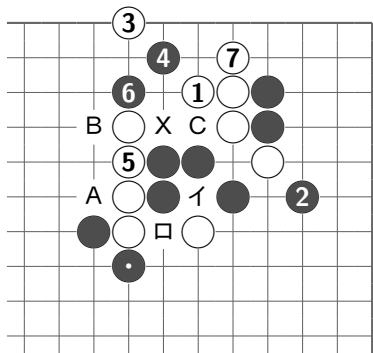
【問 4-18】黒 5 後、A または B の四三勝ち。白の四ノビは無効。白 4 他は、(4 イロ) の四三勝ち。白 2 で他は、3 後 (イハ B ニ) の四三勝ち。



【問 4-19：白先】黒の反撃にも注意。



【問 4-20：黒先】好手・好防が見られます。

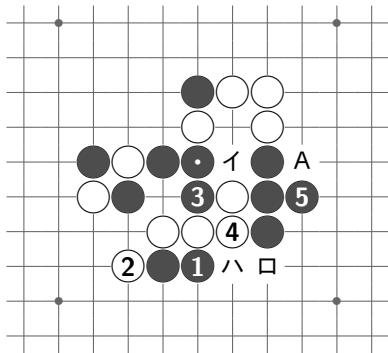


【問 4-19】白 7 後、X 点四々禁。
黒 2 反対も同様。

白 7 は黒 (イロ) をノッています。

従って、白 7 で A は不可。

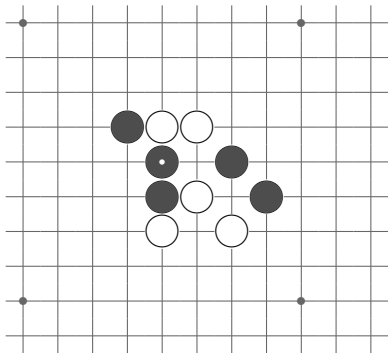
※ 初手で B や C には、黒 6 です。



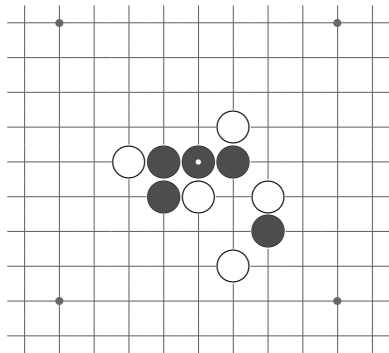
【問 4-20】黒 5 後、((イ)ロハ) の四三勝ち。
白 4 や 2 で他は、A または口の四三勝ち。

白 2 や 4 が絶対の防ぎ手ですが、
白の四三を恐れない 5 の好手で決まります。

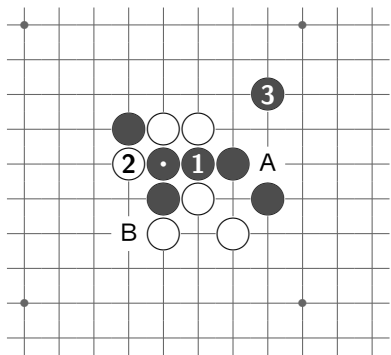
5 序盤の詰連珠



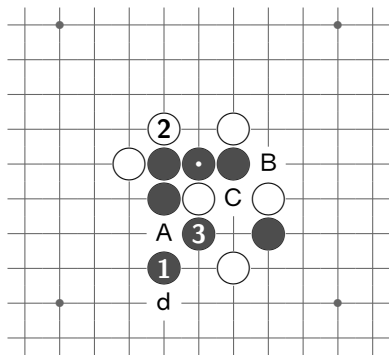
【問 5-1：黒先】防ぎに応じて…。



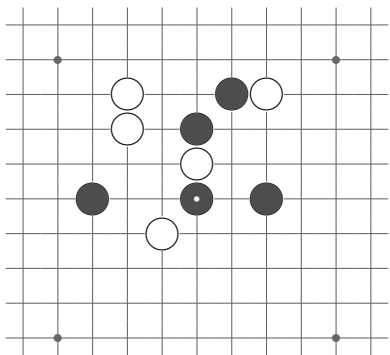
【問 5-2：黒先】これも防ぎに応じて
勝ち方を変えます。



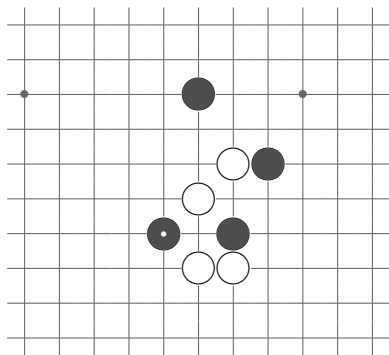
【問 5-1】黒 3 後、A の四三勝ち。
 白 2 反対は、B 後 2 の四三勝ち。
 # 白の防ぎの変化に応じて勝ち方を変えます。



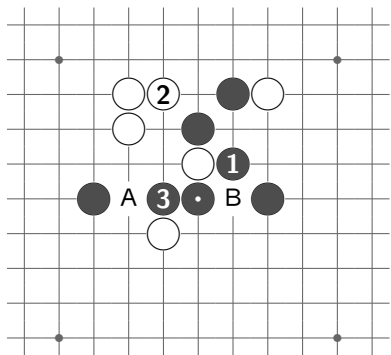
【問 5-2】黒 3 後、A または B の四三勝ち。
 白 2 で A は C 後 B、d は 2 の四三勝ち。
 ※ 初手から A ・ 白 2 ・ 黒 3 後の (1 B) は、ノラれます。



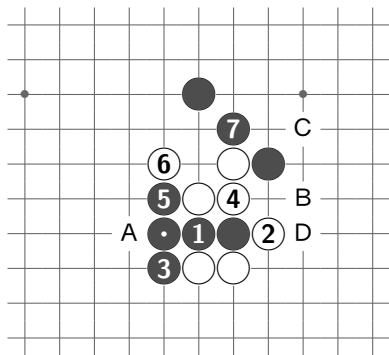
【問 5-3：黒先】少し変わった形ですが、ある狙いを実現する練習問題です。



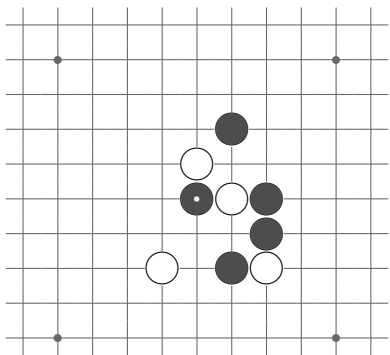
【問 5-4：黒先】手順は一意です。



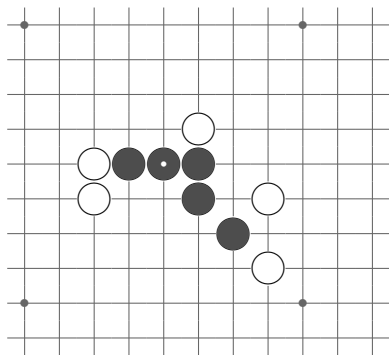
【問 5-3】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 が反対も同じ。



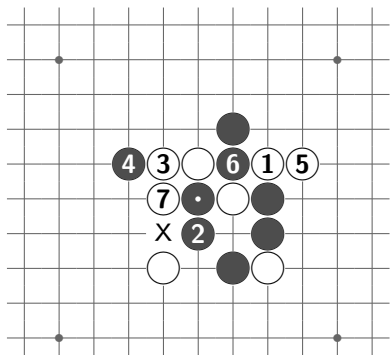
【問 5-4】黒 7 後、A の四三勝ち。
 白 4・6 で他にも同じ。白 2 で反対は、
 B・C と三をヒキ D の四三勝ち。
 # 手順を変えると勝てません。



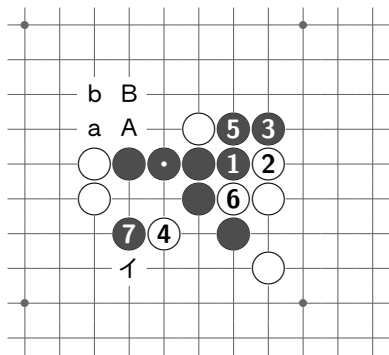
【問 5-5：白先】三々禁を狙います。



【問 5-6：黒先】勝ち筋が見えてもノラれそうです。うまく打ちまわします。

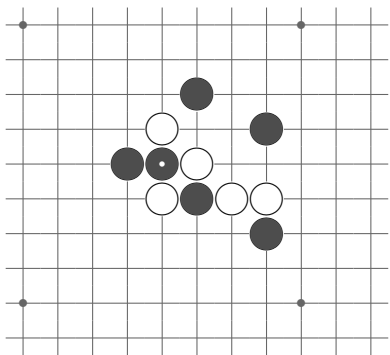


【問 5-5】白 7 にて X 点三々禁。
 黒 4 他も 6 の点に打たせ、同様。黒 2
 他も 2 の点に打たせ、同様。

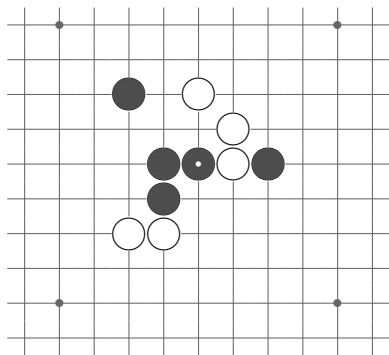


【問 5-6】黒 7 後、A の四三勝ち。
 白 6 他も同じ。白 4 反対は、5 後 (イ
 A 7) の四三勝ち。

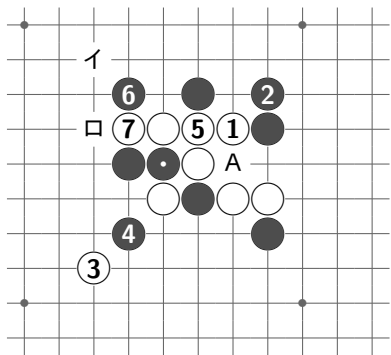
※ 初手で 7 は白 a、B は白 b と防が
 れます。



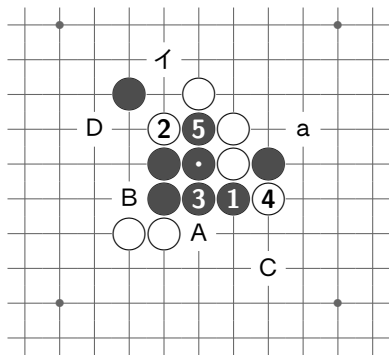
【問 5-7：白先】禁手を狙いつつ…。



【問 5-8：黒先】両ミセを狙います。

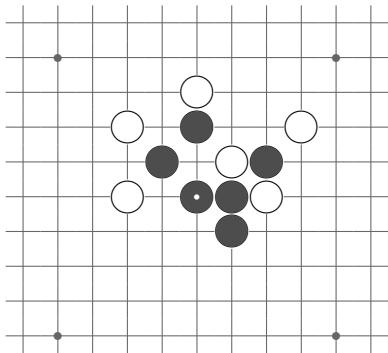


【問 5-7】白 7 後、A の三々勝ち。
 黒の四ノビは役立たない。白 6 で他は、同じ、直ちに A の三々勝ち、口で 7 点三々禁、または (イ口) で 7 点四々禁。白 2 で反対は 5 として同様。
 ※ 同じようでも 3 でイとするのは、黒に四追いが残り失敗。

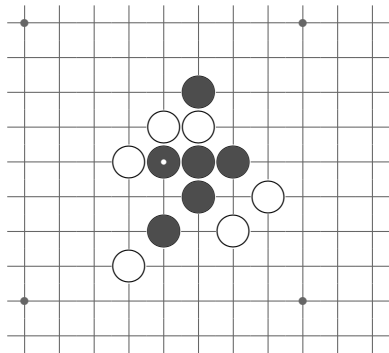


【問 5-8】黒 5 後、A または B の四三勝ち。白 4 で反対は、C 後 4 の四三勝ち。白 2 で他は、A・D の三後 (2 イ) の四三勝ち。
 ※ 3 で A は、白 a と止められます。

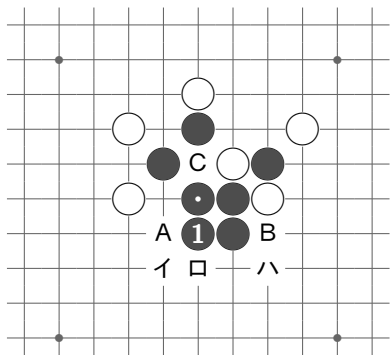
6 ひとめの詰連珠



【問 6-1：黒先】複数の勝ち筋を残します。

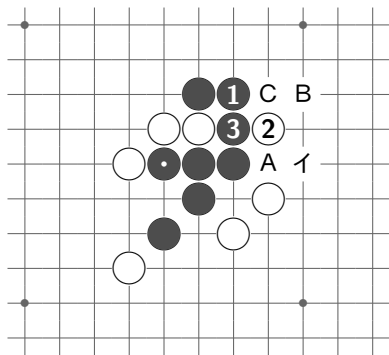


【問 6-2：黒先】三もノリ手も怖くありません。



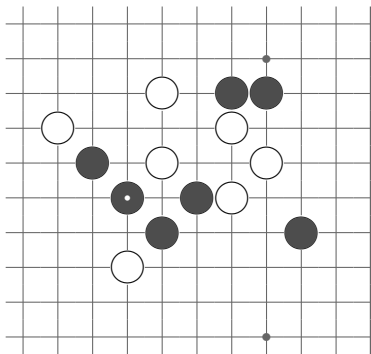
【問 6-1】黒 1 として (イロハ) をフクむと、A 後イ、B 後 C もあり、黒はこれらを防ぐ方法がない。

※ ロやイもフクミ手ですが、急所の 1 に防がれます。

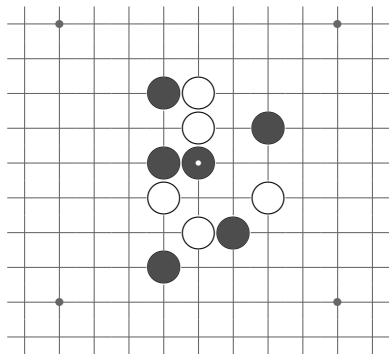


【問 6-2】黒 3 後、A の四三勝ち。白 2 で他は、同じ、B または (2イ) の四三勝ち。

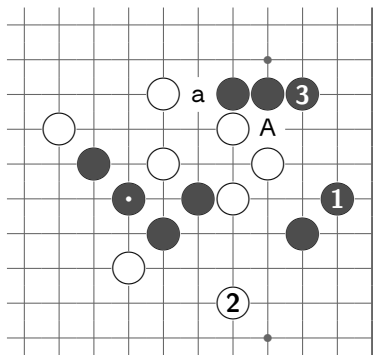
※ 初手で C は白 3、3 は白イと防がれます。初手で四ノビすると勝てなくなります。



【問 6-3 : 黒先】 両ニラミで。



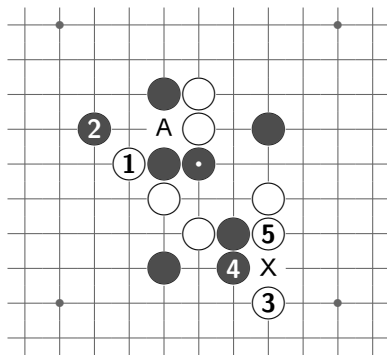
【問 6-4 : 白先】 上と下の両方に勝ち筋があるようです。



【問 6-3】黒 3 後、A の四三勝ち。
四三のミセ手を防ぐ他の 2 も同じ。

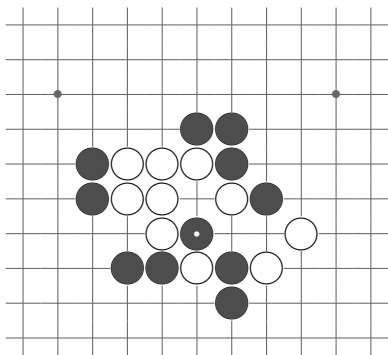
※ 初手で A は、白 a と防がれます。
初手で 2 の四ノビはできません。

※ 黒 3 を A はノリ手があり失敗です。

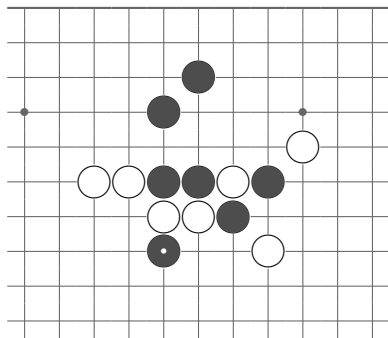


【問 6-4】白 5 にて X 点三々禁。
黒 2 反対は、A 後 2 の四三勝ち。

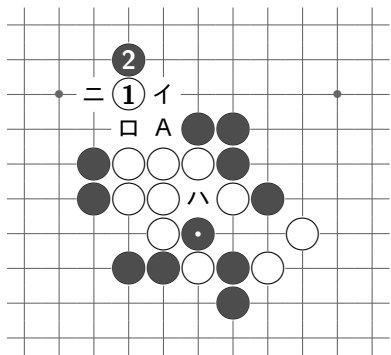
白 3・5 としての禁手がすぐに見えますが、それだと黒 1 とノラれます。
まずは白 1 の逆引きで黒 2 と止めさせておきます。



【問 6-5：白先】四三はノラれていま
すが…。

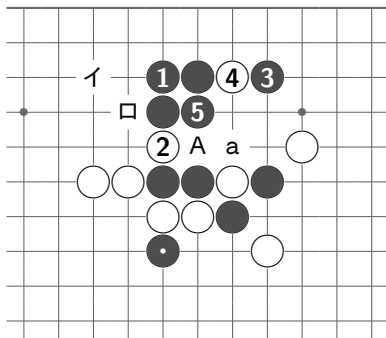


【問 6-6：黒先】ノーヒント。



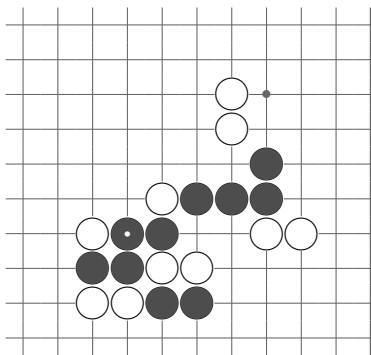
【問 6-5】白 1 の三々に黒 2 の四が最強の抵抗。しかし、(イロハニ)の四三勝ちが残る。

※ 初手の白 A の四三は、黒イ・白 2・黒 1 となり、勝ちになりません。

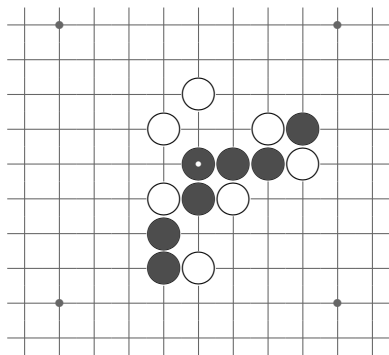


【問 6-6】黒 5 後、A の四三勝ち。白 4 他も同じ。白 2 で他は、(2 イ)、『5 後 (2 ロ)』、『5・白 a (他は四追い)・3 後 A』、または譜と同じ。

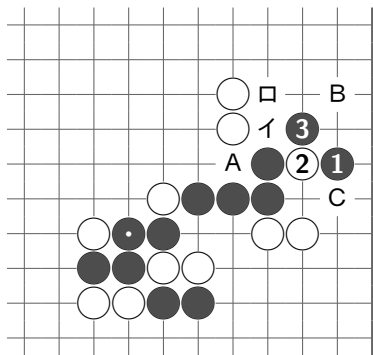
※ 初手で 2 やイもフクミ手ですが、白 1 が急所の防ぎとなります。



【問 6-7：黒先】白の好防を見落とさないように。

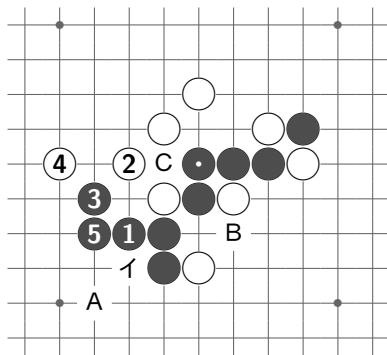


【問 6-8：黒先】初手はいくつかの勝ち筋を睨む好手です。



【問 6-7】黒 3 後、(イロ) の四三勝ち。
白 2 で他は、A、または 'B 後 C'。

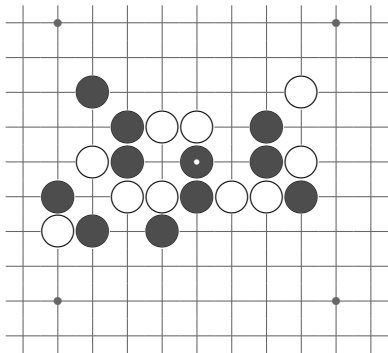
※ 初手で三や四を作ると勝てません。



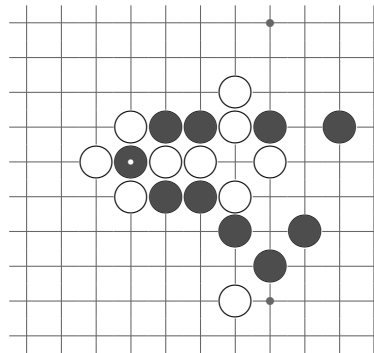
【問 6-8】黒 5 後、A の四三勝ち。
白 4 で他も同じ。白 2 で他は、(イ 2)、
B 後 C、または同じ。

※ 初手で四ノビすると勝てません。

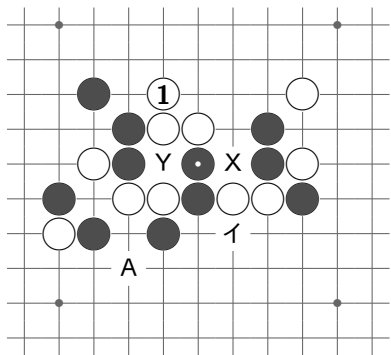
7 逆転の詰連珠



【問 7-1：白先】黒はミセ手兼フクミ手を打ってきたところです。

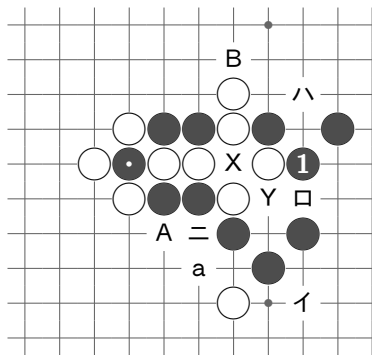


【問 7-2：黒先】黒の三々禁の点と白の四々の点が重なっています。



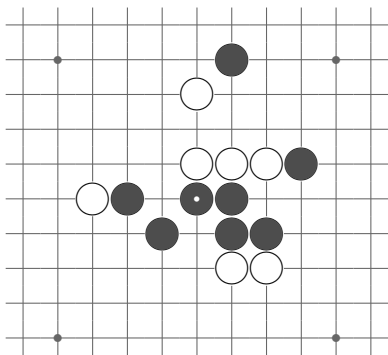
【問 7-1】白 1 で X 点または Y 点
四々禁。

白 1 は A の四三とイから始まる四
追いの両方をノリつつ、四々禁を狙う
好手です。

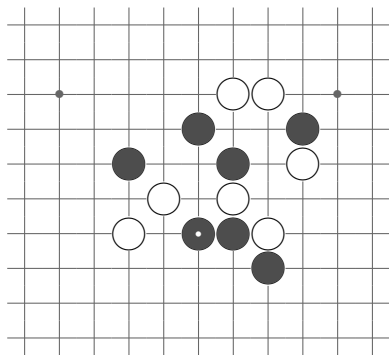


【問 7-2】黒 1 後、(イロハ) の四三勝
ち。白 B の四ノビは黒 X の三で両側
に四追いが残り、白 a の四ノビは三と
四三が残り、白の四ノビは無効。

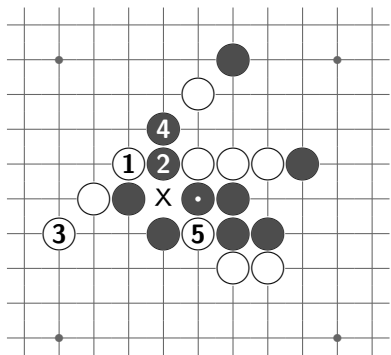
黒 1 後の白 B は、Y 点が四々にな
るため X 点は三々ではありません。



【問 7-3：白先】黒は三をヒキ次に四三を作ろうとしています。

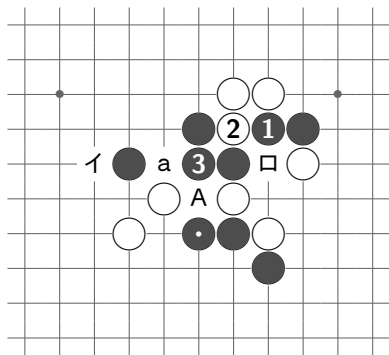


【問 7-4：黒先】黒の三々禁と白の四三の点が重なっている危険な状態ですが、絶妙な手で逆転できます。



【問 7-3】 白 5 にて X 点四々禁。

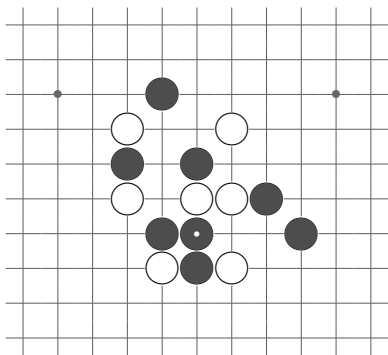
黒の四三はノッています。



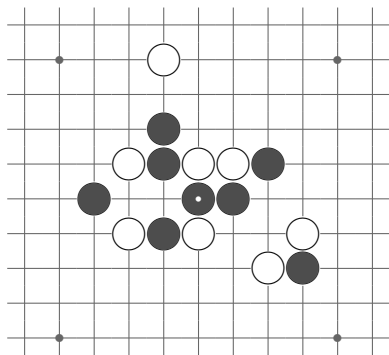
【問 7-4】 黒 3 後、直ちに、またはイ
かロの四ノビで白に a と打たせ、A の
達四勝ち。白 2 が他も同じ。

黒 1 は白の四三をノリつつ禁点を
解消する絶妙手です。黒 3 の縦は、A
点が四三々のため三ではありません。

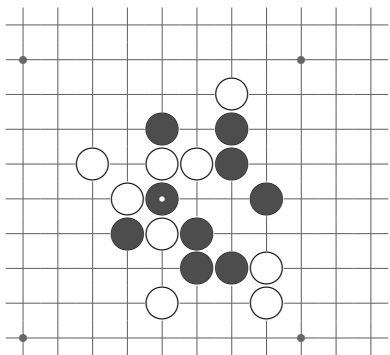
※ 初手で 2 は、白 1 で白勝ちです。



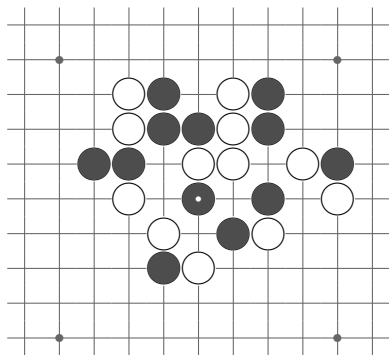
【問 7-5：白先】四三を打つと黒も四三になります。黒は両ミセになっていますが、“白勝ちがあります”がヒント。



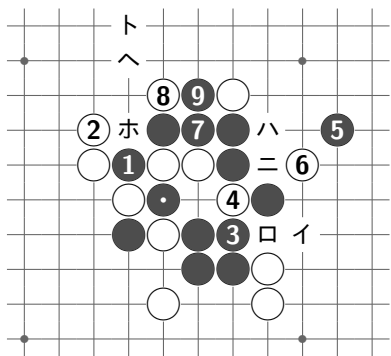
【問 7-6：黒先】禁点を活用できるように攻めます。



【問 7-7：黒先】まずは三々禁を逃げなければなりません。

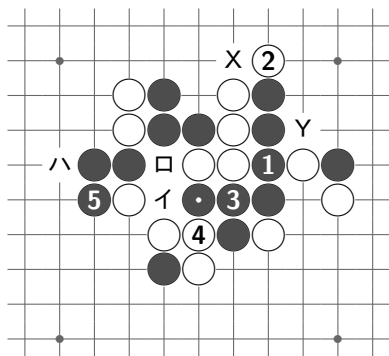


【問 7-8：黒先】三々禁を狙われています。



【問 7-7】黒 9 後、(イロハニ) の四三勝ち。白 8 反対は、9 後 (ホヘト) の四三勝ち。

5 までの四ノビで横を長連筋にし、三々禁を逃れます。

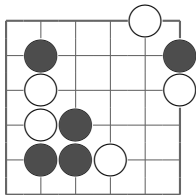


【問 7-8】黒 5 後、(イロハ) の四三勝ち。白 4 で他は、(4 イ) の四三勝ち。

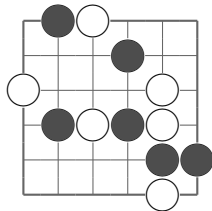
黒 1・3 とすることで、黒 X の時の Y 点が四々のため X は単なる三です。

白 4 で X 点は再び禁点ですが、白は三でなく、黒 5 と逃げられます。

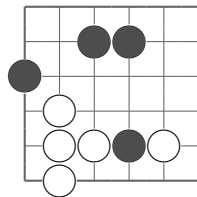
8 六路の詰連珠



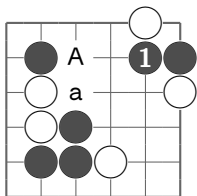
【問 8-1：黒先】
三から始めます。



【問 8-2：黒先】
三でしょうか、両ミセ手
でしょうか。

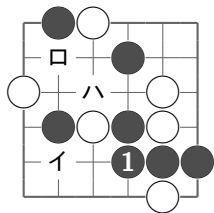


【問 8-3：白先】
ヒイていきます。



【問 8-1】黒 1 後、A の
四三勝ち。

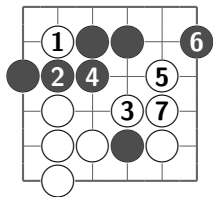
※ 初手を A は、白 a と
止められ、ノリ手のため
黒勝てません。



【問 8-2】黒 1 後、(イ
口) の四三勝ち、または
(イロハ) のノリ切り達
四勝ち。

※ 初手で両ミセのイは、
白 1 またはハと防がれ
ます。

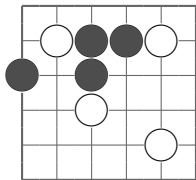
※ 初手口には白ハです。



【問 8-3】白 7 にて三々
勝ち。黒 4 他も同じ。

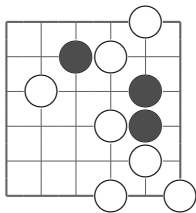
※ 図の 4 の時は黒の剣
先があるので、5 の時点
で 7 とはできません。

※ 初手 3 には黒 1 です。



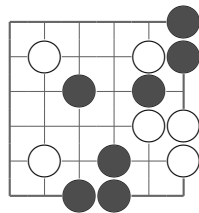
【問 8-4：白先】

黒の剣先を避けて手順
を工夫します。



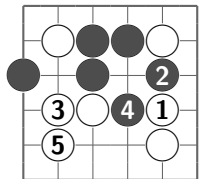
【問 8-5：白先】

黒の強防も考えて下さ
い。

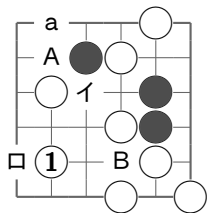


【問 8-6：白先】

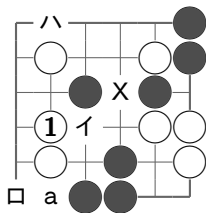
止め方に応じて勝ち方
を変えます。



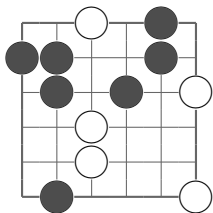
【問8-4】白5にて三々勝ち。黒2・4で他にも同じ。
 # 黒の四ノビで一方を止めても他方が達四になります。



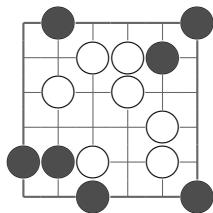
【問8-5】白1後、AまたはBの四三勝ち、あるいは(イ口B)の四々勝ち。
 # 黒aが強防です。
 ※ 初手の四ノビや手順の変更は、勝てなくなります。



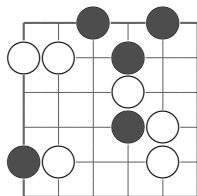
【問8-6】白1後、((a)イ口)のX点四々禁、または(ハXイ)四々勝ち。
 ※ 黒a止めの際は、四々禁にできません。
 # (ハXイ)の四々のどちらの四にも黒は四で止められますが、『四々にノリ手なし』です。



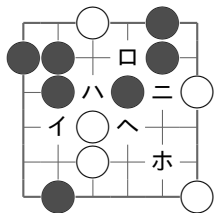
【問 8-7：黒先】
四追いがあります。



【問 8-8：白先】
ノリ手をうまく回避し
ます。

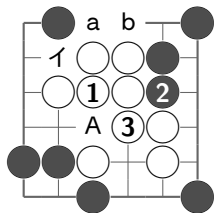


【問 8-9：白先】
黒の剣先が気になりま
すが…。



【問 8-7】黒 (イロハニ
ホへ) の四三勝ち。

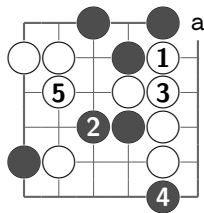
※ ロから始めるのは失
敗です。



【問 8-8】白 3 後、A、ま
たは (イ A) の四三勝ち。
黒 2 で他も同じ。

長連筋にしてノリ手
防ぎを回避します。

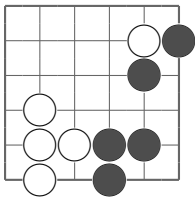
※ 初手で A は黒 a、3 は
黒 b と止められます。



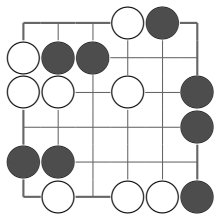
【問 8-9】白 5 にて三々
勝ち。黒 2 で他は、(2 4
5) の四三勝ち。黒の四
ノビは常に無効。

この順に打てば黒の
剣先は役立ちません。

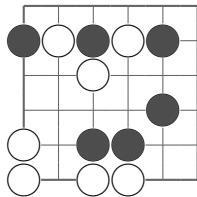
※ 初手で 3 は、黒 a の
好防で防がれます。



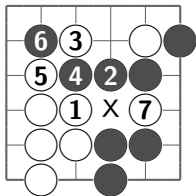
【問 8-10：白先】
禁手を狙います。



【問 8-11：黒先】
白には防ぎに役立ちそ
うな四ノビをできる点
がいくつかあります。

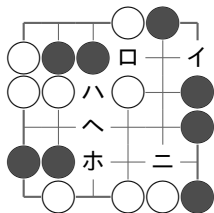


【問 8-12：白先】
長めですが、ほぼ一本道
です。



【問 8-10】白 7 にて X 点四々禁。黒 2・4 で他にも、四ノビで 2・4 に打たせ、同様。(黒 2 で他は、2 点を四々禁にする勝ちもある。)

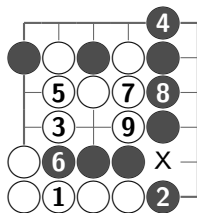
※ 黒の四ノビは他の勝ちを作り、無効です。



【問 8-11】黒は直ちに(イロハニホへ)でノリ切り達四勝ち。

この手順しかありません。

※ 四でない手を打つと、白は四を作るなどして黒の攻めを妨害します。



【問 8-12】白 9 にて X 点長連禁。黒 8 他にも、四ノビで 8 に打たせ、同様。黒の四ノビは無効。

※ 早めに 9 を打ってはいけません。

まの よしひさ
著者紹介：真野 芳久

1975 年 五段昇段

2009 年 30 年の休珠後に棋戦参加を再開

2013 年 第 51 期名人戦 A 級リーグに東海地区代表として出場

2014 年, 2015 年, 2016 年 世界選手権戦に出場

2015 年 公益社団法人日本連珠社の理事に就任 (2023 年 退任)

2023 年現在：日本連珠社東海支部長

「連珠の基礎」等のフリーの pdf 連珠書籍を東海連珠会ホームページで公開

珠々の詰連珠 (4)

2020 年 8 月 1 日

2023 年 12 月 1 日 第 2 刷

著者：真野 芳久

ga28735@gk2.so-net.ne.jp

発行：東海連珠会

